

60228

教科書文庫

6
410
34-1950
01304 49697

C Y M

Kodak Gray Scale

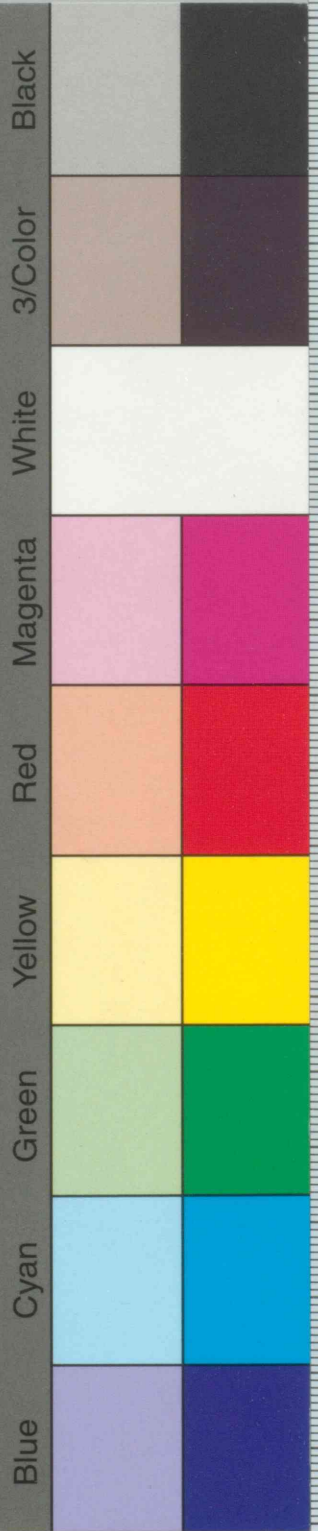
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

© Kodak, 2007 TM: Kodak

inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

文部省検定済教科書
新教育実践研究所編

12	小算417
二葉	

教育學部
資料室

小学算数



広島大学図書

0130449697

四年上

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

中央図書館

寄贈

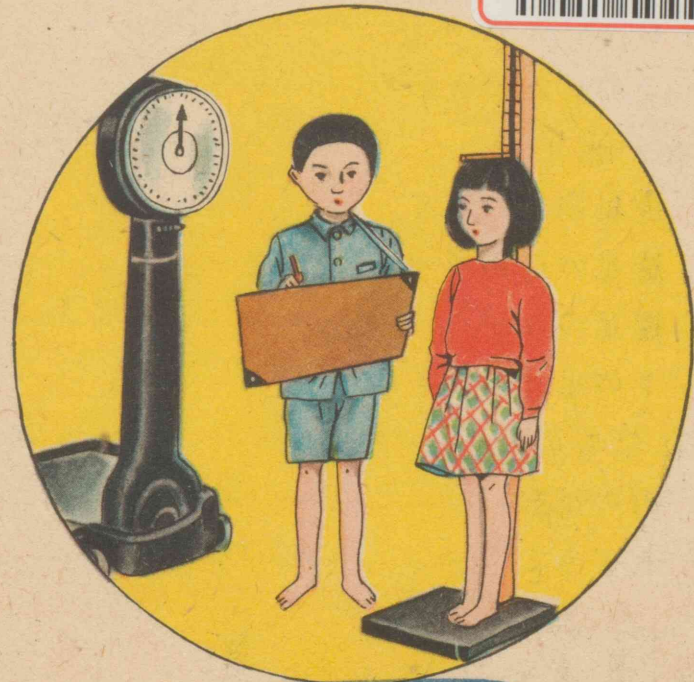
教科書文庫
6
410
34-1950
0130449697

小学算数

四年上

広島大学図書

0130449697



広島大学図書

0130449697



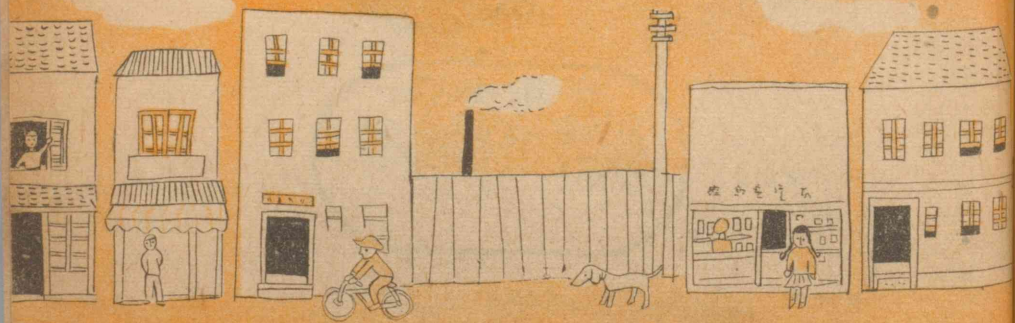
広島大学
教育学部図書

昭和25年 月 日
文部省検定済 小学校算数科用

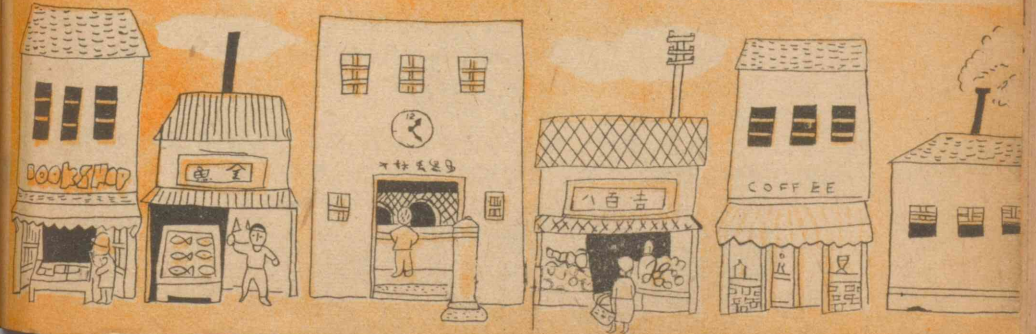


も く じ

I	新しい学年	5
一	四年生になって	6
二	生との数	10
三	これからの生活	15
四	身体けんさ	19
	・この単元のまとめ	22
II	春の遠足	28
一	遠足のけいかく	29
二	遠足のひ用	37
三	遠足のおやつ	44
	・この単元のまとめ	54
III	私たちの町	59
一	町の地図	60
二	きよりしらべ	62



三	私たちの家	71
	・この単元のまとめ	86
IV	水 泳	90
一	水泳のじゅんぴ	90
二	川の深さ	98
	・この単元のまとめ	102
	夏休みの自由研究	105
一	グラフの書き方	105
二	おつかいに行くじゅんじょ	111
V	学用品の買い入れ	117
一	帳面の配給	119
二	運動ぐつの買い入れ	126
三	半紙の配給	130
	・この単元のまとめ	13



この教科書を使われる皆様へ

小学校の算数教育の目標は、日常生活に必要な数・量・形について、正しく理解させ生活を数量的に処理する能力と、社会的で自主的科学的な能力・習慣を養うことである。

この目標を達成するために、この教科書を作るにあたっては、算数数学科学学習指導要領に示されてある具体的な目標のほかに、特につぎのような点について注意をはらった。

- (1)事前に計画をたててそれに従ってものごとをする態度習慣。
- (2)自分の考えを数量や図表を使って、正しく、かんげつに発表したり、相手の意見を正しく理解したりする態度。
- (3)真理を愛し、ものごとをさいごまでやりぬく態度。
- (4)いろいろな資料を使う時には、それが適切であるか、信頼できるかという点について、批判的にみる態度、習慣。
- (5)努力しだいても事を正しく処理することができるものだという事を自覚させ、更に自信をもつてものごとをする態度。
- (6)新しいものを工夫し創造する能力。

この教科書の特色

- (1)児童がよりよい生活をしようとする必要感にせまられて、自主的に活動するように工夫されている。
- (2)生活のどこにどんな問題があつて数量的にどのように処理したらよいかを示している。
- (3)題材は生活からとり、それに数理体系がとけこんで、両者は一体となっている。
- (4)題材は児童の心理的な発達段階に即し、しかも数学史の教える順序に従っている。
- (5)他教材との連絡について十分に考慮している。
- (6)指導にあたる人々のためにも、児童のためにも、使いやすいうように作られている。
- (7)児童の能力差に応じて適切に使うことができるように工夫されている。

この教科書を使われる上の注意

- (1)この教科書の内容を助けとして、それぞれの地域に即した題材によって、児童の学習を指導するようにすること。
- (2)進度として、各月に配当したものは、およその目あてであるから、適当に変更せられたい。
- (3)「練習問題」は反ぶく練習させ、巻末の答とくらべて、自己評価させるようにする。
- (4)「テスト」も「練習問題」と同じように自己評価させるようにする。
- (5)「テスト」が(一)(二)とある時には、あの方の「テスト」では、その単元で学習した以外のものを、復習的にいれてある。これは反ぶくして理解を確実にするためである。
- (6)三年以上は、単元の終りにある「単元のまとめ」によって、その単元の学習事項の理解を確実にさせ、学習方法について反省させるようにすること。

I 新しい学年

私たちは、四年生になりました。この1年間も、しっかりべんきょうしましょう。





一 四年生になって

楽しかった春やすみがおわって、あきら君たちは、よろこんで学校にいきました。教室がかわり、せきも新しくきまりました。

教室には、二人で使うつくえが、正めに4つたでに6つならんでいます。つくえはみんなでいくつあるでしょう。あきら君の組は、三月のおわりに46人でしたが、四月一日に、2人ほかの学校へ行って、4人あたらしくはいりました。せいとの数は何人になったでしょう。そのうち男の生とは25人です。女の生とは何人でしょう。

私たちの組についても、考えましょう。



テスト(一)

(1) つぎのよせざんをしなさい。

<u>72</u>	<u>18</u>	<u>53</u>	<u>234</u>	<u>364</u>
<u>16</u>	<u>41</u>	<u>24</u>	<u>225</u>	<u>123</u>

<u>50</u>	<u>31</u>	<u>42</u>	<u>413</u>	<u>425</u>
<u>30</u>	<u>59</u>	<u>40</u>	<u>267</u>	<u>135</u>

<u>26</u>	<u>45</u>	<u>72</u>	<u>214</u>	<u>183</u>
<u>83</u>	<u>61</u>	<u>54</u>	<u>778</u>	<u>593</u>

<u>68</u>	<u>97</u>	<u>63</u>	<u>256</u>	<u>677</u>
<u>42</u>	<u>18</u>	<u>79</u>	<u>586</u>	<u>123</u>

(2) つぎのひきざんをしなさい。

<u>78</u>	<u>65</u>	<u>94</u>	<u>489</u>	<u>857</u>
<u>32</u>	<u>41</u>	<u>23</u>	<u>143</u>	<u>725</u>

<u>60</u>	<u>80</u>	<u>53</u>	<u>897</u>	<u>643</u>
<u>20</u>	<u>70</u>	<u>43</u>	<u>517</u>	<u>520</u>

<u>50</u>	<u>80</u>	<u>82</u>	<u>571</u>	<u>963</u>
<u>15</u>	<u>21</u>	<u>47</u>	<u>216</u>	<u>138</u>

<u>131</u>	<u>171</u>	<u>125</u>	<u>400</u>	<u>700</u>
<u>68</u>	<u>92</u>	<u>57</u>	<u>254</u>	<u>378</u>

テスト(二)

つぎのかけざんをしなさい。

$$\begin{array}{r} 2 \ 7 \ 8 \ 7 \ 1 \ 2 \ 5 \ 7 \ 3 \ 9 \\ \hline 2 \ 5 \ 3 \ 7 \ 5 \ 3 \ 5 \ 4 \ 6 \ 1 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3 \ 6 \ 1 \ 3 \ 6 \ 9 \ 2 \ 1 \ 3 \ 2 \\ \hline 5 \ 3 \ 7 \ 2 \ 6 \ 8 \ 1 \ 8 \ 4 \ 6 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3 \ 8 \ 5 \ 9 \ 5 \ 6 \ 2 \ 5 \ 4 \ 9 \\ \hline 3 \ 4 \ 9 \ 3 \ 8 \ 2 \ 7 \ 1 \ 9 \ 5 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 9 \ 6 \ 2 \ 7 \ 4 \ 9 \ 9 \ 4 \ 6 \ 7 \\ \hline 7 \ 1 \ 8 \ 6 \ 1 \ 9 \ 2 \ 8 \ 5 \ 2 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5 \ 3 \ 1 \ 3 \ 2 \ 7 \ 8 \ 5 \ 4 \ 1 \\ \hline 4 \ 9 \ 2 \ 7 \ 9 \ 1 \ 8 \ 6 \ 3 \ 6 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 8 \ 1 \ 9 \ 6 \ 3 \ 7 \ 5 \ 4 \ 8 \ 2 \\ \hline 2 \ 9 \ 4 \ 8 \ 1 \ 9 \ 3 \ 7 \ 6 \ 4 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4 \ 5 \ 7 \ 8 \ 8 \ 4 \ 3 \ 4 \ 2 \ 6 \\ \hline 6 \ 7 \ 3 \ 1 \ 9 \ 5 \ 8 \ 2 \ 5 \ 4 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 8 \ 5 \ 7 \ 4 \ 6 \ 1 \ 9 \ 6 \ 4 \ 8 \\ \hline 5 \ 2 \ 8 \ 4 \ 9 \ 3 \ 6 \ 7 \ 1 \ 7 \end{array}$$

テスト(三)

(1) つぎの□の中に、ちょうどあてはまる数をいれなさい。

$$\square \times 5 = 20 \quad \square \times 6 = 54 \quad \square \times 3 = 21$$

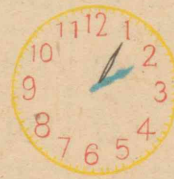
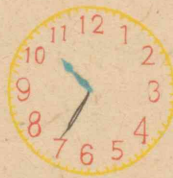
$$\square \times 8 = 40 \quad \square \times 3 = 15 \quad \square \times 9 = 18$$

$$\square \times 7 = 21 \quad \square \times 6 = 36 \quad \square \times 4 = 32$$

$$3 \times \square = 24 \quad 5 \times \square = 45 \quad 7 \times \square = 35$$

$$2 \times \square = 14 \quad 8 \times \square = 56 \quad 4 \times \square = 28$$

(2) 何時何分をさしていますか。

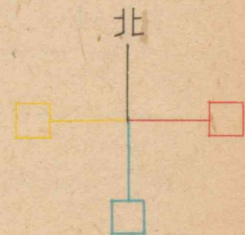


(3) つぎの□の中に、文字か数字を入れなさい。

$$1 \text{ l} = \square \text{ dl} \quad 1 \text{ 年} = \square \text{ 月}$$

$$1 \text{ 日} = \square \text{ 時間} \quad 1 \text{ 時間} = \square \text{ 分}$$

$$2.5 \text{ 円} = \square \text{ 円} \square \text{ 銭}$$





二 生との数

新学年で、ほかの学校へうつった生とや、新しくはいつて来た生とがあります。そのほかに新しく一年生が大ぜいはいました。あきら君やよし子さんたちは、この学校に生とが何人ぐらいいるのかしらべてみたいと思って、先生におねがいして、学校の生との表をかりてきました。

年	組	一組	二組	三組	四組	計
一年		52	51	52	51	206
二年		50	49	51	48	198
三年		49	47	48	47	191
四年		48	47	45	49	189
五年		51	52	52	50	205
六年		44	45	47	43	179
計						1168

生との表は左のようでした。

・各学年の生とは、それぞれ何人でしょう。

・学校全体では、何人でしょう。

あきら君たちは、生との数が思っていたより多

かったのでおどろきました。そして、この町のほかの学校には、どのくらい生とがいるのか、また町ぜん体では、生との数はどのくらいか、しらべてみたいと思いました。

ひでお君とちよ子さんが、町役場へ行って、小学校の表をいただいてきました。

学校	生と	男	女	計
東小学校		682	614	1296
西小学校		611	597	1208
朝日小学校		604	564	1168
本町小学校		520	558	1078
上原小学校		503	486	989
計				5739

・各学校の生との数を読んでごらん下さい。

・町全体では、生との数は何人でしょう。

・そのうち、男の生と

は何人でしょう。また、女の生とは何人でしょう。

男と女の生との数は、どちらがどれだけ多いでしょう。

・私たちの学校や、町についてもしらべてみましょう。

つぎの数を読みなさい。

2598 4267 5000 8000

7043 2109 6070 3008

つぎの計算をきなさい。

3000 2000 1513 1257
+6000 +1000 +1486 +2731

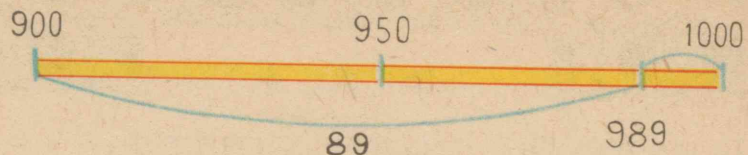
1738 4789 6896 2469
+2645 +3465 +2795 +3783

8000 3986 4322 8833
-5000 -2465 -1614 -6857

みんなが、表の生との数を計算していますと、
先生が、

「学校の生との数は1年中同じではありませんし、
また、数も大きいので、5739人のような数は、お
よそ5700人といってよいのです。」と教えてください
ました。それぞれの学校の生との数は、およそ
何千何百人といえはいいでしょう。

989人は、900人より1000人に近いから、およ
そ1000人といいましょう。



つぎのよせ算をきなさい。

5347 2739 3564 1206
1252 4758 1079 6959

1425 2836 4768 6539
2212 2175 1904 1937
781 4758 1625 894

つぎのひき算をきなさい。

9879 7491 5670 8501
6318 3713 2873 3647

8000 6000 4631 5441
2735 1249 1985 2457

つぎの数は、およそ何千何百といったらいいで
しょう。

3725 8354 5140 6975
1092 4850 7688 2007



テ ス ト

(1) つぎの表は、わが国の高い山です。

ふ じ 山	3776 m
し ら ね 山	3192
ほ た か だ け	3190
や り が た け	3180

この高さを読みなさい。

ふじ山はしらね山よりどれだけ高いでしょう。

ほかの山についても、し
らべなさい。

(2) 世界で一ばん高い山は、インドのヒマラヤ山
みやくの中にあるエベレスト山で、高さは8852 m
です。ふじ山よりどれだけ高いでしょう。

(3) 山田村の入口は、川むこうの部落が4352人、
川のこちらの部落が4879人です。村全体の人口
はいくらでしょう。

(4) つぎの計算をしなさい。

$$\begin{array}{r} 3213 \\ +4616 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4916 \\ +2358 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5798 \\ +2848 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 3589 \\ +3437 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4619 \\ +5381 \\ \hline \end{array}$$

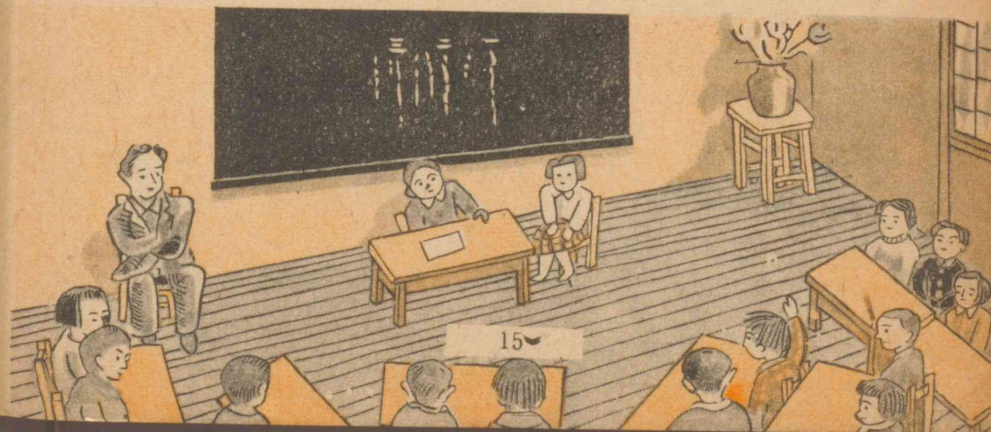
$$\begin{array}{r} 8567 \\ -2314 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 7425 \\ -3718 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6754 \\ -1897 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6043 \\ -2571 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 10000 \\ -4817 \\ \hline \end{array}$$

三 これからの生活

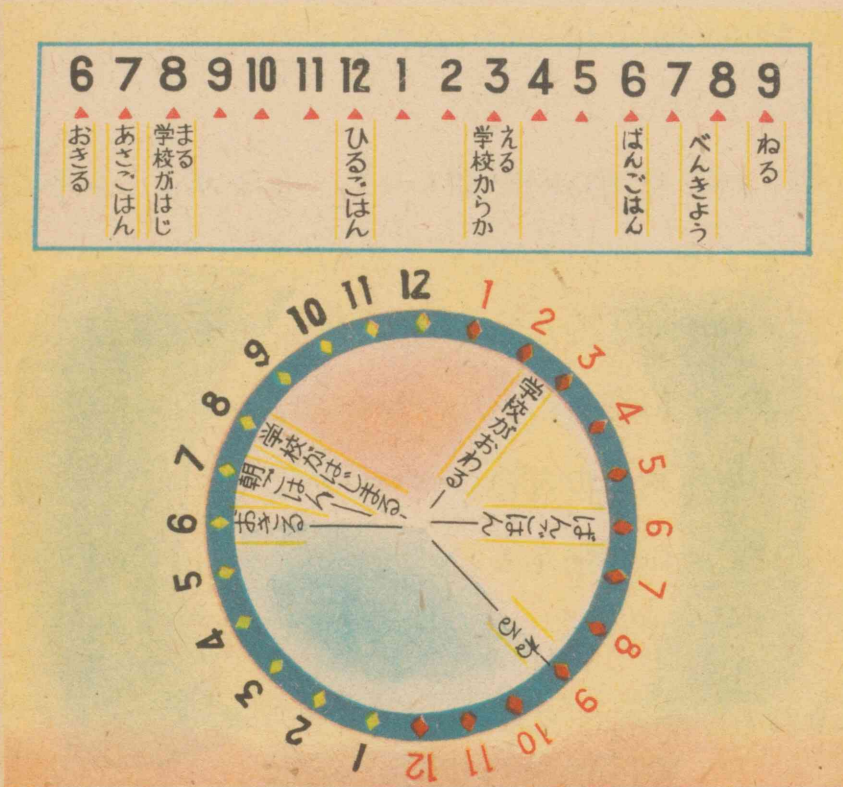
きょう、学級相談会を開きました。学級いいん
をせんきょしてから、四年生になって、これから
の学習について、そうだんしました。

みんなから出たいけんをまとめて、つぎのこ
とがきまりました。

- 時こくや時間をまもって、きまり正しい生活
をする。
- 物をそまつにしたり、むだ使いをしたりしな
い。そのために、小づかいちょうをつける。
- 先生や家の人のおいつけをよくまもり、一生
けんめい勉強する。



きまり正しい生活をするために、一日の生活のよていを立てることになりました。下の図は、あきら君とよし子さんの立てた、よてい表です。



私たちが、このようなよていを立てたりグラフを作ったりしましょう。

ひでお君が「ことしは夏時間はいつからはじまるのだろう。」といたのでみんなは、夏時間について話しあっています。

私たちが考えましょう。

お小づかいをいただく人は、小づかいちょうを作って、つけることを話しあいました。

下の表は、ひでお君の作った小づかいちょうです。私たちが、小づかいちょうを作ってつけましょう。

月日	き	じ	はいった金	つかった金	のこった金
4.1	おかあさん	から	いただく	100.00	円 100.00
3	ちょう	面を	買う	.	8.50 91.50
				.	.
				.	.

小づかいちょうのお金の書き方で、円と銭の切れ目には、・をうつことにしました。

つぎのお金を、そのように、・を使って書きなさい。

23円45銭 7円69銭 12円40銭 6円80銭

15円5銭 2円9銭 20円50銭 10円3銭



練習

(1) つぎの計算をしなさい。

$$\begin{array}{r} 546 \\ +749 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 809 \\ +364 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 137 \\ +456 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 258 \\ +608 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 265 \\ +646 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 374 \\ +927 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 438 \\ +588 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 259 \\ +793 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1074 \\ -749 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1526 \\ -578 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 954 \\ -787 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 890 \\ -438 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1268 \\ -939 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1237 \\ -696 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1118 \\ -486 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1405 \\ -586 \\ \hline \end{array}$$

$$5 \times 7 \quad 4 \times 8 \quad 7 \times 7 \quad 3 \times 7$$

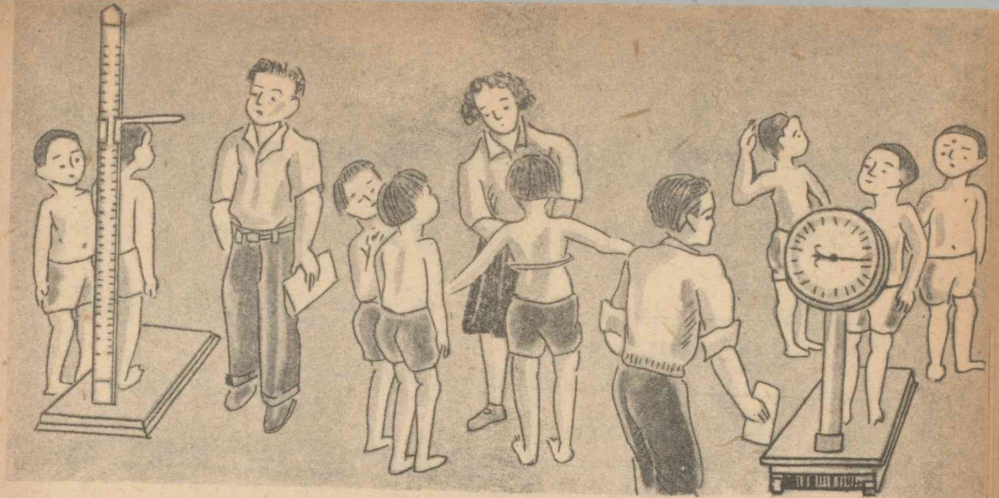
$$7 \times 6 \quad 6 \times 4 \quad 9 \times 9 \quad 8 \times 3$$

$$8 \times 9 \quad 7 \times 9 \quad 8 \times 6 \quad 9 \times 2$$

(2) つぎの□の中へ、数をいれなさい。

$$\square \times 6 = 48 \quad \square \times 4 = 36 \quad \square \times 8 = 64$$

$$7 \times \square = 56 \quad 9 \times \square = 63 \quad 5 \times \square = 30$$



四 身体けんさ

身体けんさがありました。きょうは、身長、きょうい、体重をはかりました。

先生が、はかるときのちゅう意をみんなにおききになりました。

身長をはかるときには、どんなことにちゅう意したらいいでしょう。

きょういや体重をはかるときには、どんなことにちゅう意したらいいでしょう。

あきら君が身長をはかったとき、先生が「128てん5センチ」とおっしゃいました。きょういときには、「61てん4センチ」とおっしゃいました。

あきら君が、身体けんさの表を見ると、つぎの
ように書いてありました。身長128.5 cm・のは、

氏名	山田あきら
身長	128.5 cm
きょうい	61.4 cm
体重	

センチメートルの単位を表
わして、128.5 cmは、
28 cmと129 cmとの間にあ
ります。きょういの6.14cm
についても考えてごらん

さい。物さしには、1 cmが
10にくざられているのがありま
す。その小さい1めもりの長さを、1ミリメ
ートルといって、1 mmとも書きます。

上の表で、128.5 の5は5 mmを表わ
していることになります。

$$1 \text{ cm} = 10 \text{ mm}$$

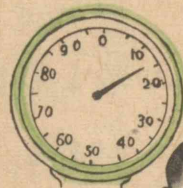
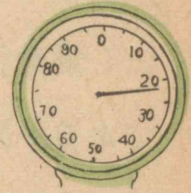
あきら君のきょういは、何センチ何ミリですか。
自分や友だちの身長や、きょういを読んでごら
んなさい。それは何センチ何ミリですか。

体重をはかったとき、先生が「22てん8キログ
ラム」とおっしゃいました。あきら君がはかりを
見ると、右のようになっていました。

22と8の間の・はキログラムの
単位を表わしています。

22.8 kg は、23kgより重いで
しょうか、軽いでしょうか。ま
た、22kgより重いでしょうか、
軽いでしょうか。

自分や友だちの体重の表を読んでみましょう。
あきら君たちの体重計は、長いしるしとしるし
の間が1 kgで、その中が10にくざってあります。
左の図は、何kgの重さを表わ
していますか。





この単元のまとめ

①生活をきまり正しくするために、は生活時
こく表や、小づかいちょうを作ることが大切
である。

②大きな数を読んだり書いたりする。

5678は五千六百七十八と読む。

③大きな数は、およそいくらということがある。

たとえば 5678 はおよそ 5700 などという。

④ cmより小さい長さはミリメートル単位では
かる。ミリメートルはmmとも書く。

$$1 \text{ cm} = 10 \text{ mm}$$

⑤単位を表わす数と、それより小さい数との間
に .をうって、その単位で表わすことがある。

$$61 \text{ cm } 4 \text{ mm} \text{ は } 61.4 \text{ cm}$$

$$4 \text{ 円 } 58 \text{ 銭} \text{ は } 4.58 \text{ 円}$$

⑥夏時間になったら時計を一時間進める。



練習

(1) つぎの数を読みなさい。

7563 4085 2901 6200 8340

5497 3078 9904 3500 6810

(2) つぎのかん字を数字で書きなさい。

四千 七千 五千六百 三千八百

二千七百九十 六千三百五十 八千四十七

三千六十八 九千八百八十五 三千四百九十七

(3) つぎの表は、川べ村の部落の人数です。

(い) 人数を読みなさい。

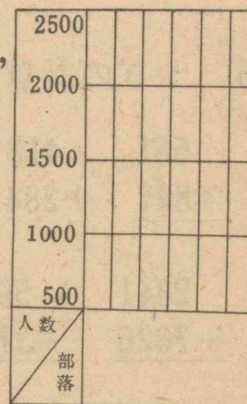
田中	1457人
川西	2038
本田	2256
川東	1240
新田	1984

(ろ) 各部落の人数は、
およそ何人といえ
ばいいでしょう。

(は) 各部落の人数を

右のグラフに書き

入れなさい。



(に) 本田と新田では、人数は何人ちがいますか。

川べ村全体では、人数は何人でしょう。

また、川べ村の人数は、およそ何人といえ
 でしょう。

(4) この本のよこの長さはいくらありますか。そ
 れは何センチ何ミリですか。それを
 センチメートル単位であらわし
 なさい。

(5) 東京から青森までの汽車ちんは、
 840円、鹿ご島までは1620円です。

どちらがどれだけたかい
 でしょう。また、青森か
 ら鹿ご島までいくらかかるでしょう。



(6) つぎの計算をしなさい。

561	418	796	592	925	673
<u>+847</u>	<u>+284</u>	<u>+158</u>	<u>-357</u>	<u>-469</u>	<u>-376</u>

2341	5917	4596	7865	1475
<u>+7626</u>	<u>+3767</u>	<u>+4878</u>	<u>+1469</u>	<u>+8525</u>

9648	3524	4317	4020	10000
<u>-2517</u>	<u>-1809</u>	<u>-1698</u>	<u>-2714</u>	<u>-4613</u>

(7) つぎの計算をしなさい。

4×3	5×6	6×8	7×5
--------------	--------------	--------------	--------------

2×9	3×7	4×8	5×9
--------------	--------------	--------------	--------------

6×4	7×7	8×5	9×8
--------------	--------------	--------------	--------------

2×5	3×9	1×7	8×8
--------------	--------------	--------------	--------------

9×9	8×3	9×4	0×5
--------------	--------------	--------------	--------------

$4 \times 5 + 3$	$5 \times 7 + 4$	$7 \times 2 + 6$
------------------	------------------	------------------

$9 \times 3 + 4$	$8 \times 6 + 5$	$7 \times 2 + 6$
------------------	------------------	------------------

$6 \times 3 + 5$	$4 \times 7 + 3$	$0 \times 7 + 4$
------------------	------------------	------------------

(8) つぎの□の中に、ちょうどあてはまる数を
 れなさい。

$2 \times \square = 6$	$3 \times \square = 12$	$4 \times \square = 24$
------------------------	-------------------------	-------------------------

$6 \times \square = 13$	$8 + \square = 14$	$7 + \square = 15$
-------------------------	--------------------	--------------------

$\square \times 5 = 35$	$\square \times 6 = 54$	$\square \times 7 = 42$
-------------------------	-------------------------	-------------------------

$\square - 9 = 8$	$\square - 3 = 3$	$\square - 8 = 4$
-------------------	-------------------	-------------------

$7 \times \square = 56$	$8 \times \square = 56$	$9 \times \square = 18$
-------------------------	-------------------------	-------------------------

$15 + \square = 23$	$26 + \square = 41$	$19 + \square = 50$
---------------------	---------------------	---------------------

$2 \times \square = 16$	$3 \times \square = 18$	$6 \times \square = 30$
-------------------------	-------------------------	-------------------------

$28 - \square = 12$	$35 - \square = 16$	$75 - \square = 57$
---------------------	---------------------	---------------------



テ ス ト

(1) つぎは それぞれ 何キロと何グラムのこ
と
でしょう。

23.5kg 40.8kg 132.3kg

(2) つぎは それぞれ 何センチと何ミリメー
ルになりますか。

118.2cm 68.7cm 16.4mm

(3) つぎの それぞれを()の中の単位であらわ
しなさい。

36kg と 300 g (kg) 18cm と 5 mm (cm)

2 ダース (本) 28日 (週間)

2000 g (kg) 360mm (cm)

4800 g (kg) 283mm (cm)

(4) 中村君の組の生とは 三年生の時には47人で
したが、こんど3人よその学校へうつり、新ら
しく 4人はいって来ました。組の人数は何人
になったでしょう。

(5) 中村君の学校の生とは三月末には1454人でし

た。六年生は 198人でみんな中学へ行き、新らし
い一年生が 287人入学して来ました。

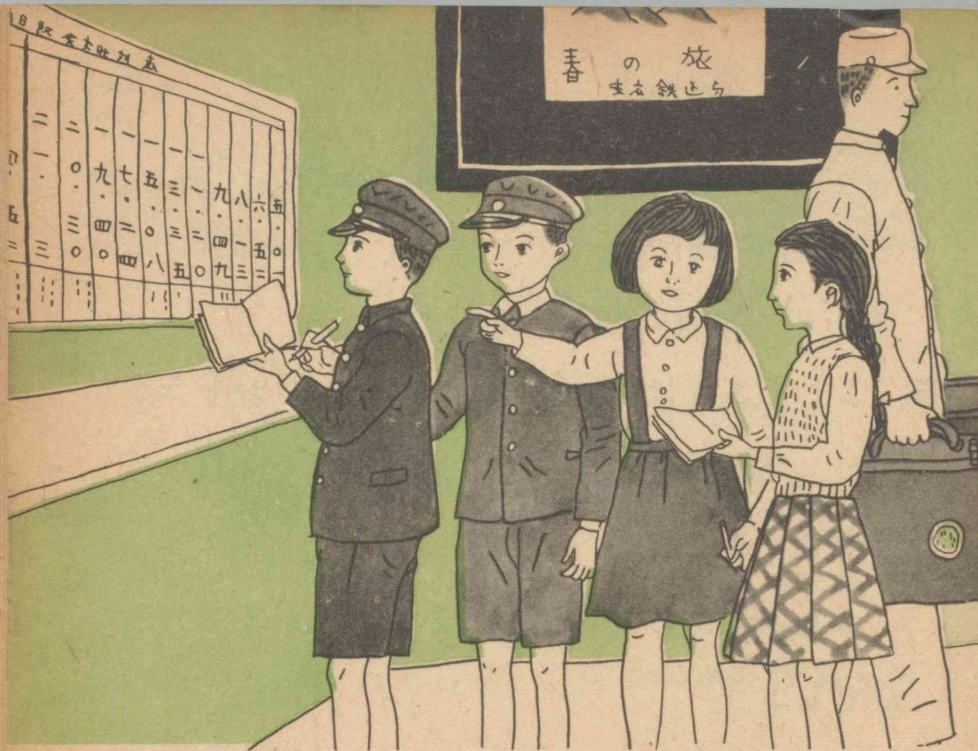
生との人数は 何人ふえたでしょう。

(6) よし子さんは 進級のおいよいよ おとうさ
んが、585円のふくと 780円のくつを買って
くださいました。

ふくとくつのだい金は あわせていくらだっ
たでしょう。

(7) つぎのお金はいくらありますか。





II 春の遠足

一 遠足のけいかく

けいかくをたててりっぱな遠足にしましょう。

あきら君たち4年生は、こんどの遠足には、中川海岸へしおひがりに行くことにまりました。

みんなは喜んでしらべること考え、手わけしてつぎのようなことをしらべようと話しあっています。

- 行く日は、こよみを見て、しおの関係をしらべ、てきとうな日をえらぶ。



- 当日の持ち物についてもしらべておく。
- 汽車の発着時こくをしらべたり、集合時こくを考えたりする。
- と中の時間や、しおひがりをする時間などについてもしらべておく。
- 電車ちんその他のひ用についてもしらべる。
- ひ用は どのようにして集めればよいかについても考える。
- 持っていくおやつについても、みんなで考えて発表しあってきめる。

きよし君の発表

学校へ集まる時こくは、汽車に乗る時こくをもとにしてきめたらいいだろうと、みんなは考えています。

きよし君たちは、駅の時こく表をうつして来て発表しました。

きよし君は、駅でうつした右のような時こく表を大きく書いて来ました。

きよし君は「朝早くいって、午後6時頃に帰ればい

いだろう。」と、汽車の時こく表の見方について、せつめいしました。上りと下りの両方の時こく表の中、どちらをみればよいかわからなかったので、駅の人にききますと、駅の方は、

「上りというのは 東京の方へ行く汽車のこと

二 一 ・ 三 三	二 〇 ・ 三 〇	一 九 ・ 四 〇	一 七 ・ 二 四	一 五 ・ 〇 八	一 三 ・ 三 五	一 一 ・ 二 〇	九 ・ 四 九	八 ・ 一 三	六 ・ 五 二	五 ・ 〇 一	上 り
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	連 絡
二 一 ・ 二 五	二 〇 ・ 二 〇	一 八 ・ 〇 三	一 七 ・ 〇 〇	一 五 ・ 四 七	一 四 ・ 二 二	一 二 ・ 五 八	一 〇 ・ 五 一	八 ・ 四 三	六 ・ 四 〇	四 ・ 五 一	下 り
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	連 絡

東京から各地方へ行くのは、下りといっています。中川駅は、東京方面行きに乗ればいいのですね。」といわれたといっています。

学校から駅までは 約20分かかるから、6時52分の汽車で行くには、6時半に学校を出発すればよいと思うことを発表しました。

きよし君の発表や 時こく表について、色々と質問が出ました。

- ・ きよし君たちの しおひがりに行く時に乗るのは、上り列車でしょうか。下り列車でしょうか。
- ・ 駅の時こく表などは、時こくが大そうごまかに表わされています。上りの最初に出るのは、何時何分でしょう。

下りの 五番目に出るのは、何時何分でしょう。

- ・ 5時1分という時には、とけいの長い針はどこをさしているでしょう。
- ・ 6時52分の時には、長い針は、どこをさしているでしょう。8時13分の時は、どうでしょう。

・ 13時35分というのは、午後何時何分のことでしょう。20時30分は、午後何時何分のことでしょう。

・ 下りの 最終列車が朝日駅を出る時こくは、いつですか。それをふつうのいかたでいってごらんください。

・ 朝日町の人たちは、“5時の上り” “7時の下り” などとよくいっていますが、正しくいうと、これはそれぞれ 何時何分のことでしょう。

きよし君は、帰りの時こくについても、朝日駅から中川駅までは、40分間だから、中川駅を出る時こくを知ることができるといっています。

朝日駅着 16時59分 (発 17.00) の 下り列車には、中川駅は、 何時何分に乗ればいいでしょう。

そのつぎの下りで帰るとすれば、中川駅は、何時何分に 乗ればいいでしょう。

ひでお君の発表

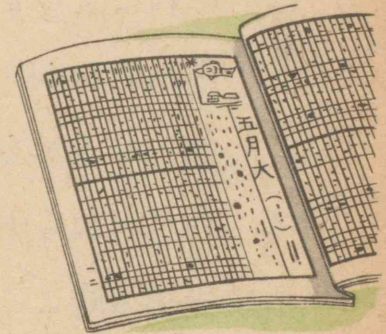
きよし君の発表が終って、ひでお君が発表しはじめました。ひでお君は、しおひがりによい日をしらべたのです。

まず、こよみで、しおのみちひを調べられることを知って、おとうさんか

ら、こよみをおかりして、しらべたことを発表しました。

しおひがりでは、おひる頃にしおが いちばん多くひく日を

えらびたいと思ってしらべたいといっています。



月	日	満潮 <small>みちひ</small>	干潮 <small>ひかり</small>
五	1 日	5 : 45	0 : 25
		19 : 40	12 : 50
月	16 日	6 : 20	1 : 05
		21 : 00	13 : 40

しおのみちひは毎日

少しずつずれている

が、5月では1日、

16日がよいように考

えたといつて上のような表を しめました。

・ 5月1日16日のひきしお(干潮)の時こくをいってごらんください。

しおがひかないのに 海へ早く行っても、しおひがりばできないから、汽車にのる時こくもつぎのようなことをもとにして 考えなければ、ならないだろうと話し合いました。

- (1) しおのひく時こくをしらべる。
- (2) それによって、行く日をきめる。

中川駅から、海まではあるいてどの位の時間がかかるかをしらべる。

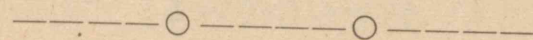
- (4) 朝日駅から中川駅までの時間を 考えて、朝日駅を出る時こくをきめる。
- (5) 帰りの時こくは、きよし君のしらべたことをもとにして、17時か、18時頃に 朝日駅につくようにする。

この時よし子さんは、中川駅から海までのことをしらべたので、その発表をすることにしました。

- 駅から海までは、約5分間で行ける。
- 茶店があるので、そこをかりて したくをして行けばよい。

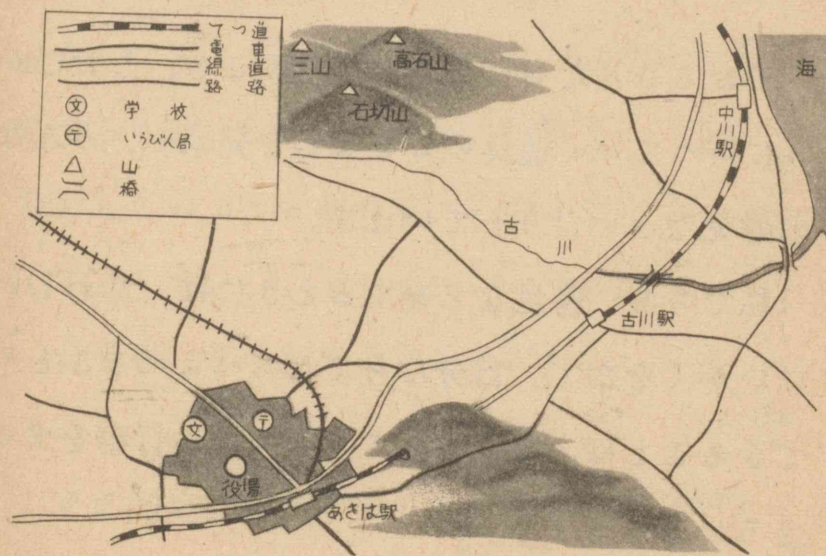
- したくする時間を 15分間とみて、みんなて20分間とみればよい。

このようなことがわかったので、みんなは日取り、時こくなどについて、くわしい けいかくをたてようとしています。



かず子さんの発表

かず子さんたちは、しおひがりに行く道じゆんを 図に表わして と中で気をつけて みることなどについて 発表しました。



松山てつきょうの長さや、各駅間のきよりは、どのくらいあるかを 汽車の時間で何分間というように表わせないだろうか。

・ 社会科として 漁村のようす、台地と低地のようすや、交通はどんなところに 発達するか、などについても 気をつけてみる。

・ 汽車のはやさは、どうにかしてしらべられないだろうか。

このような 問題や 見学するところの発表などがありました。

かおるさんたちは、身じたくのこと、しおひがりに持っていく道具のことなどを発表し、みんなの意見をきいたりしています。

私たちも 遠足などをするときには、くわしいけいかくをたて、自分たちでしらべられることや、できることは、進んでして、りっぱに行事をするようにしましょう。



二 遠足のひよう

きょうは、遠足のひようを集める日です。この前の話し合いで、一人が21円ずつ持って来ました。集め方は、はん長がはんのを集めて、それを学級いいんの会計係に出します。会計係はひでお君とかず子さんです。

あきら君は 第1ぱんのはん長です。はんの人は8人です、みんなのお金の集まったのをかんじようして見ると168円ありました。あきら君はこれでまちがないかどうか、計算で

ためしてみようと思って、右のよう

にしました。

お金は まちがないことがわかりました。

21
21
21
21
21
21
21
21
+21
168

そのとき、それをみていたよし子さんが、

「あきらさん $2+2+2+2$ のように 同じ数をよせるときには 2×4 とかけ算のできるのですから この計算も 21×8 としてできないでしょうか。」といました。

はんの人は これをきいて、みんなで考えました。ほかのはんの人たちも、これをきいて 自分たちのはんも 8人で、同じ計算なので、みんな考えはじめました。

ちよ子さんの考え方

21×8 は 1×8 , 20×8 とにわけられます。

20×8 の出し方

$20 \times 2 = 20 + 20 = 40$ は

$2 \times 2 = 4$ からわかります。

$20 \times 3 = 20 + 20 + 20 = 60$ は

$2 \times 3 = 6$ からわかります。

これと同じように考えて、

20×8 は $2 \times 8 = 16$ から、 160 になります。

21×8 の答は 8 と 160 をたして 168 になります。

みんなはこれをきいて、この計算の考え方がわかりました。すると あきら君が、

「その考え方をこうゆうふうにかくと、しやすいでしょう。」といて右のように書きました。

$$\begin{array}{r} 21 \\ \times 8 \\ \hline 8 \\ 160 \\ \hline 168 \end{array}$$

みんなはなるほどと思いました。そして、よくわかるように、みんなは問題を作ってみました。

$$71 \times 5 \quad 43 \times 2 \quad 63 \times 3 \quad 82 \times 4$$

「この計算をしていると、よし子さんが 21×8 の計算では「一八が8」「二八16」で 160 というよりも「八一が8」「八二16」で 160 といつて 8 と 160 とをたして 168 とした方がいいね。」といました。

こんどは、かおるさんが「この八二16の 160 は 0 を書かないで、 16 を 8 のすぐ左に書いてもいいですね」といました。

$$\begin{array}{r} 21 \\ \times 8 \\ \hline 168 \end{array}$$

練習 (一)

つぎのかけ算をなさい。

$$\begin{array}{r} 34 \\ \underline{2} \end{array} \quad \begin{array}{r} 13 \\ \underline{3} \end{array} \quad \begin{array}{r} 21 \\ \underline{4} \end{array} \quad \begin{array}{r} 30 \\ \underline{5} \end{array} \quad \begin{array}{r} 60 \\ \underline{6} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 41 \\ \underline{8} \end{array} \quad \begin{array}{r} 52 \\ \underline{4} \end{array} \quad \begin{array}{r} 62 \\ \underline{3} \end{array} \quad \begin{array}{r} 31 \\ \underline{7} \end{array} \quad \begin{array}{r} 42 \\ \underline{3} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 44 \\ \underline{2} \end{array} \quad \begin{array}{r} 50 \\ \underline{5} \end{array} \quad \begin{array}{r} 62 \\ \underline{4} \end{array} \quad \begin{array}{r} 81 \\ \underline{6} \end{array} \quad \begin{array}{r} 71 \\ \underline{8} \end{array}$$

つぎのかけ算をなさい。

$$\begin{array}{r} 214 \\ \underline{2} \end{array} \quad \begin{array}{r} 321 \\ \underline{3} \end{array} \quad \begin{array}{r} 200 \\ \underline{4} \end{array} \quad \begin{array}{r} 100 \\ \underline{5} \end{array} \quad \begin{array}{r} 406 \\ \underline{2} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 501 \\ \underline{7} \end{array} \quad \begin{array}{r} 612 \\ \underline{4} \end{array} \quad \begin{array}{r} 743 \\ \underline{2} \end{array} \quad \begin{array}{r} 810 \\ \underline{2} \end{array} \quad \begin{array}{r} 301 \\ \underline{6} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 333 \\ \underline{3} \end{array} \quad \begin{array}{r} 702 \\ \underline{4} \end{array} \quad \begin{array}{r} 520 \\ \underline{3} \end{array} \quad \begin{array}{r} 111 \\ \underline{8} \end{array} \quad \begin{array}{r} 522 \\ \underline{4} \end{array}$$

会計係のひでお君とかず子さんは、はん長が持つて来たお金をかぞえていましたが、

「この計算も、同じようにしてできそうだね。」と
いって 黒板に下のようにはきました。

一つのはんから	ひでお君たちのせつめい
集ったお金 168 円	168 は100 と68に分ける。
はんの数 6はん	100 × 6 は100 が6つで
$\begin{array}{r} 168 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$	600 になる。

68 × 6 は「六八 48」「六
六 36」で360 ですから、
48 と360 とをよせればよい。

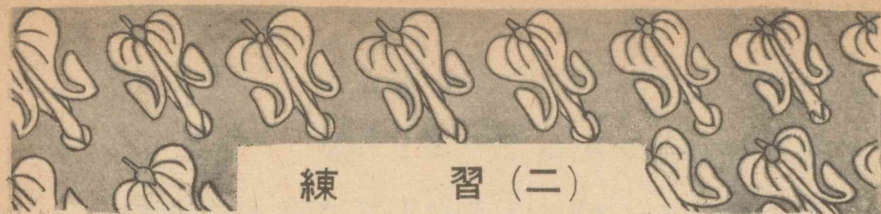
$$\begin{array}{r} 68 \\ \times 6 \\ \hline 48 \\ 360 \\ \hline 408 \end{array} \quad \begin{array}{r} 68 \\ \times 6 \\ \hline 408 \end{array}$$

これをもっと かんたんにするには、「六八 48」
の8を6の下に書き、「六六 36」の36とくり上つ
た4とをよせて40そして、8のすぐ左に書く。

168 × 6 の計算も 8 × 6, 60 × 6, 100 × 6 の計算をべつ
べつにやるかわりに、右の計

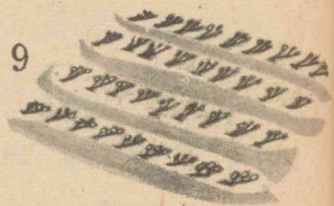
$$\begin{array}{r} 168 \\ \times 6 \\ \hline 48 \\ 360 \\ \hline 600 \\ 1008 \end{array} \quad \begin{array}{r} 168 \\ \times 6 \\ \hline 1008 \end{array}$$

算のように、一ぺんにやる方法もわかりました。



練習(二)

(1) 学級園に、さつまいものなえをうえることになりました。一つのはんは1列に9本ずつ、4列うえます。組は6はんにわかれています。組全体ではいもなえは何本いるでしょう。



(2) つぎのかけ算をしなさい。

$\begin{array}{r} 92 \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 71 \\ 9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 53 \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 42 \\ 5 \end{array}$	$\begin{array}{r} 37 \\ 4 \end{array}$
$\begin{array}{r} 79 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 83 \\ 8 \end{array}$	$\begin{array}{r} 25 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 86 \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 68 \\ 5 \end{array}$
$\begin{array}{r} 15 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 28 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 89 \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 25 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 34 \\ 9 \end{array}$
$\begin{array}{r} 408 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 529 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 417 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 231 \\ 8 \end{array}$	$\begin{array}{r} 792 \\ 4 \end{array}$
$\begin{array}{r} 167 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 195 \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 357 \\ 5 \end{array}$	$\begin{array}{r} 279 \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 764 \\ 8 \end{array}$
$\begin{array}{r} 637 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 869 \\ 9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 478 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 526 \\ 9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 895 \\ 8 \end{array}$



テスト(一)

(1) 学級園にさつまいものなえをうえることになりました。四年生は1組に216本、五年生は360本、六年生は426本うえます。各学年は4組ずつあります。

いもなえは四年生は何本いるでしょう。

五年生は何本いるでしょう。また、六年生は何本いるでしょう。

全体では何本あればいいでしょう。

(2) つぎのかけ算をしなさい。

$\begin{array}{r} 90 \\ 5 \end{array}$	$\begin{array}{r} 24 \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 36 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 53 \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 75 \\ 4 \end{array}$
$\begin{array}{r} 80 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 41 \\ 9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 34 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 47 \\ 8 \end{array}$	$\begin{array}{r} 25 \\ 8 \end{array}$
$\begin{array}{r} 206 \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 481 \\ 5 \end{array}$	$\begin{array}{r} 739 \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 987 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 375 \\ 4 \end{array}$
$\begin{array}{r} 409 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 862 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 518 \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 356 \\ 9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 751 \\ 8 \end{array}$



三 遠足のおやつ

こんどの遠足に、P. T. A. からおやつがくばられることになりました。おやつは、一人にせんべいが3まいと あめが7つずつです。

いるだけの数を学年でまとめて いただきに行くことになりました。ひでお君とかず子さんが代表になって ほかの組の人といっしょに受け取りに行きました。

あきら君たちは、この組にいくつずつくるのか話しあっています。

あきら 「せんべいは一人に3まいで 48人だから 3×48 だね これはどう計算したらいいのだろう。」

よし子 「かけざんでは、 2×3 は 3×2 と同じですから、 3×48 も 48×3 と同じでしょう。」

- 48×3 はいくつになりますか。
- 3×48 と 48×3 とは答が同じでしょうか。

このことをあきら君はつぎのように考えました。

3×48 は、 3×8 と 3×40 とにわけられます。

この40は4の10倍だから

3×40 は12の10倍で120になります。

だから、 3×8 の答、24と120をたして144になります。これで $3 \times 48 = 48 \times 3$ がわかりました。

あきら君は これを右のように書きました。

$$\begin{array}{r} 3 \\ \times 48 \\ \hline 24 \\ 120 \\ \hline 144 \end{array}$$

みんなはこれを見て

$$\begin{array}{r} 3 \\ \times 48 \\ \hline 144 \end{array}$$

前の計算と同じように はじめの答

24と二回目の答120とを一ぺんにたし

たらよいと思いました。

そこで、あめの数を計算しはじめました。

私たちもしてみましよう。

つぎのかけ算をしなさい。

$$\begin{array}{r} 3 \\ \hline 32 \end{array} \quad \begin{array}{r} 4 \\ \hline 19 \end{array} \quad \begin{array}{r} 7 \\ \hline 56 \end{array} \quad \begin{array}{r} 8 \\ \hline 29 \end{array} \quad \begin{array}{r} 9 \\ \hline 56 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 6 \\ \hline 71 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2 \\ \hline 27 \end{array} \quad \begin{array}{r} 5 \\ \hline 39 \end{array} \quad \begin{array}{r} 9 \\ \hline 95 \end{array} \quad \begin{array}{r} 7 \\ \hline 89 \end{array}$$

ひでお君とかず子さんは、ほかの組の代表と、せんべいとあめをいくつずつ受け取ったらいいか、そうだんしています。四年生はみんなて189人ですから せんべいは 3×189 となります。

ひでお君のしかた。

3×189 は 3の100倍と80倍と9倍です。

$$3 \times 9 = 27 \quad 3 \times 80 = 240$$

$$3 \times 100 = 300$$

$$\begin{array}{r} 27 \\ 240 \\ 300 \\ \hline 567 \end{array}$$

27と240と300をたして567になる、これをかんたんにするには「三九27」で7を書く。「三八24」で240と20をよせて260の6を書く。「三一が3」で300と200をよせて500の5を書く。

かず子さんがこれを見て「前のしかたによくにいますね。 3×189 と 189×3 の答は同じではないでしょうか。」といました。

3×189 と 189×3 の答は同じでしょうか。

つぎの計算をしなさい。

$$\begin{array}{r} 2 \\ \hline 123 \end{array} \quad \begin{array}{r} 5 \\ \hline 507 \end{array} \quad \begin{array}{r} 7 \\ \hline 127 \end{array} \quad \begin{array}{r} 4 \\ \hline 634 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2 \\ \hline 259 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3 \\ \hline 131 \end{array} \quad \begin{array}{r} 9 \\ \hline 408 \end{array} \quad \begin{array}{r} 6 \\ \hline 158 \end{array} \quad \begin{array}{r} 8 \\ \hline 789 \end{array} \quad \begin{array}{r} 6 \\ \hline 125 \end{array}$$

あきら君は、今まで、かけ算の答があっているかどうかしらべるのに、先生に答をきいたり 友だちとくらべたりしていましたが、ひとりですらべるしかたはないだろうかと考えました。

それには、もし かける数とかけられる数ととりかえて答が同じなら 一度計算してから かける数とかけられる数ととりかえて計算して、答が同じだから ためしてみればよいと思いました。

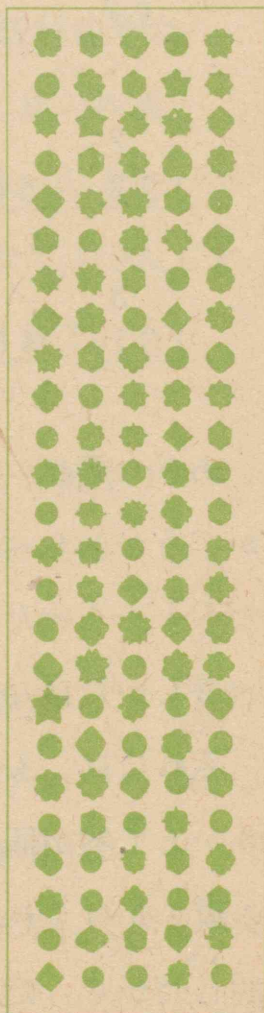
そのことをよし子さんに話して、二人でしらべてみることにしました。

あきら君の考え方

右の図のようにおはじきを並べてみると、おはじきは全部で125あります。この並べ方はたてに25の並びが5れつあると考えれば $25 \times 5 = 125$ だし、よこに5つの並びが25あると考えれば $5 \times 25 = 125$ です。

25×5 も 5×25 も答は同じですから、かける数とかけられる数を取りかえてもよいことになります。

189×3 のときも 同じように考えることができます。



かず子さんの考え方

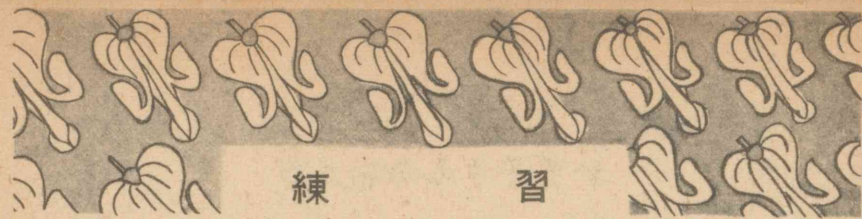
1本3円のえんぴつを100本買えば $3 \times 100 = 300$ となって300円で、お金をはらうのには、100円さつ3まい、だから 100×3 となって 3×100 と 100×3 は同じです。このように考えれば かける数とかけられる数を取りかえても答は同じであることがわかります。

二人は このことを組の人たちに話しました。そして、これからかけ算の答は こうやってためすことにしました。

つぎのかけ算をしなさい。かける数とかけられる数を取りかえてかけてみて答をたしかめなさい。

$\begin{array}{r} 86 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 72 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 138 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 279 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 214 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$
---	---	--	--	--

$\begin{array}{r} 4 \\ \times 56 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 7 \\ \times 81 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ \times 213 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ \times 130 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ \times 305 \\ \hline \end{array}$
---	---	--	--	--



練習

(1) つぎの かけ算をなささい。答はたしかめましよう。

$\begin{array}{r} 2 \\ 81 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 16 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 72 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 34 \end{array}$	$\begin{array}{r} 9 \\ 86 \end{array}$
$\begin{array}{r} 4 \\ 209 \end{array}$	$\begin{array}{r} 7 \\ 124 \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \\ 370 \end{array}$	$\begin{array}{r} 9 \\ 753 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 825 \end{array}$
$\begin{array}{r} 372 \\ 5 \end{array}$	$\begin{array}{r} 907 \\ 5 \end{array}$	$\begin{array}{r} 613 \\ 8 \end{array}$	$\begin{array}{r} 491 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 585 \\ 4 \end{array}$

もっと 練習しましょう。

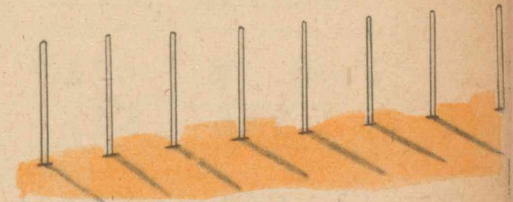
$\begin{array}{r} 5 \\ 911 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2 \\ 382 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ 901 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \\ 104 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 \\ 376 \end{array}$
$\begin{array}{r} 807 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 628 \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 713 \\ 9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 580 \\ 8 \end{array}$	$\begin{array}{r} 421 \\ 5 \end{array}$
$\begin{array}{r} 879 \\ 8 \end{array}$	$\begin{array}{r} 648 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 725 \\ 9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 916 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 430 \\ 6 \end{array}$

(2) 田中さんの学校の四年生 218人に 1本4円のえんぴつが1本ずつくばられました。この代金はみんなでいくらだったでしょう。

(3) 1週のうち、6日間ずつ学校へ来るとして35週間には、何日になりますか。

毎日6時間ずつ学習する

とすれば、この間の学習する時間は何時間になるでしょう。



(4) 約59m ずつはなれて柱が

8本立っています。この柱の はしからはしまでは、およそ何メートルはなれていますか。

(5) 一日に、かん字を4字ずつおぼえていけば1年間には 何字になるでしょう。

中学三年までに学ぶ かん字の数は 1801 字です。この数とくらべてみましょう。

(6) 1ぼ のはばが65cmの四年生が、9ぼでは何センチになりますか。10ぼでは何センチになりますか。100ぼではどれだけになるでしょう。



テ ス ト

(1) つぎの かけ算を しなさい。

(い)
$$\begin{array}{r} 3 \\ \times 125 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 6 \\ \times 207 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 7 \\ \times 413 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2 \\ \times 463 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 8 \\ \times 104 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4 \\ \times 294 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5 \\ \times 907 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2 \\ \times 517 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 6 \\ \times 580 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3 \\ \times 375 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 7 \\ \times 376 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4 \\ \times 847 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 8 \\ \times 801 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 9 \\ \times 619 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 6 \\ \times 624 \\ \hline \end{array}$$

(ろ)
$$\begin{array}{r} 431 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 204 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 912 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 510 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 403 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 400 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 761 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 302 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 931 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 491 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 131 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 150 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 801 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 653 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 769 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$$

つぎのどこにあたるかしらべましょう。

	たいそう よい	よ い	ふつう	ややわるい	わるい
い	15	14-13	12-8	7-6	5-0
ろ	15	14-13	12-8	7-6	5-0

(2) 四年一組の男生とが みんなでやきゅうの
道具をそろえようと そう

だんし、ねだんをしらべて
みました。それを右のよう
な表に作りました。

ど う ぐ	ねだん
ミ ッ ト(きれ)	450.00
" (皮)	1500.00
グ ロー ブ(きれ)	320.00
グ ロー ブ(皮)	750.00
バ ッ ト	120.00
バ ッ ク ネット	1215.00
キ ャ ッ チ ャ ー マ ス ク	800.00
ボ ー ル	75.00

(い) きれのグローブ 8
この代はいくらでしょう。

(ろ) 皮のグローブ 8こ
の代はいくらでしょう。

(は) バット 3本ではいく
らでしょう。

(に) ボール 半ダースでは いくらでしょう。

(3) つぎのかけ算は、どのしかたが 一番い
でしよう。

(い)
$$\begin{array}{r} 5 \\ \times 387 \\ \hline 35 \\ 400 \\ 1500 \\ \hline 1935 \end{array}$$
 (ろ)
$$\begin{array}{r} 5 \\ \times 387 \\ \hline 19435 \end{array}$$
 (は)
$$\begin{array}{r} 5 \\ \times 387 \\ \hline 35 \\ 40 \\ 15 \\ \hline 15435 \end{array}$$
 (に)
$$\begin{array}{r} 5 \\ \times 387 \\ \hline 1935 \end{array}$$

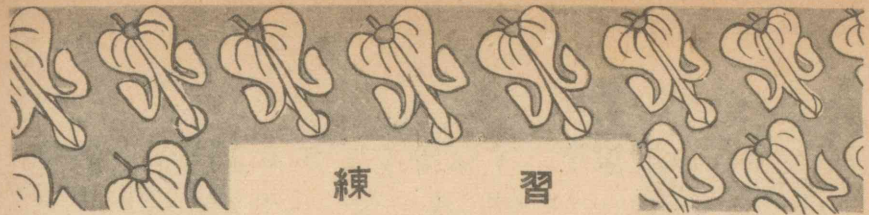


この単元のまとめ

- ① 遠足などをするには前もってこまかい、けいかくを立てることが大切である。
- ② 汽車や電車などは時刻表をみて発着の時刻を知ることができる。
- ③ 汽車の発着時刻は24時制を用い、午後1時は13時、午後2時は14時というようにいう。
- ④ 時刻表はたいてい1分単位で表わされている。
- ⑤ こよみを用いて しおのみちひのようすなどを知らることができる。
- ⑥ 23×8 は 「八三24」

$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 8 \\ \hline 184 \end{array}$$
「八二16」で160とくり上った20をよせて180とし左のように計算する。
- ⑦ 8×23 は 「三八24」 「二八16」で

$$\begin{array}{r} 8 \\ \times 23 \\ \hline 184 \end{array}$$
160とくり上った20で180として左のように計算する。
- ⑧ 8×23 の答と 23×8 の答とは同じであるからこのようにしてためすことができる。



練習

- (1) 10円さつ何まいで 100円になりますか。
 100円さつ何まいで 1000円になりますか。
 1000円さつ何まいで 10000円になりますか。
- (2) つぎの計算をしなさい。

$50 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6$	$49 + 29$			
$39 + 152$	$93 - 8 - 8 - 8 - 8 - 8$			
$91 + 21$	$163 - 82$ $28 + 67$			
$73 - 38$	$560 + 160$ $136 - 54$			
$230 - 59 - 19 - 19$	$4300 - 999$			
$\begin{array}{r} 65 \\ +65 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 89 \\ +81 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 54 \\ +98 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 86 \\ +39 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 69 \\ +87 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 247 \\ +76 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 157 \\ +138 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 67 \\ +175 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 442 \\ +68 \\ \hline \end{array}$	
$\begin{array}{r} 110 \\ -68 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 250 \\ -83 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 125 \\ -39 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 156 \\ -67 \\ \hline \end{array}$	
$\begin{array}{r} 1731 \\ -952 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 1442 \\ -647 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 7640 \\ -3692 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 8083 \\ -4599 \\ \hline \end{array}$	

(3) つぎの計算を すばやくできるように 練習
しなさい。

$6 \times 4 + 4$	$7 \times 5 + 6$	$8 \times 7 + 4$
$1 \times 8 + 5$	$8 \times 5 + 2$	$9 \times 9 + 3$
$2 \times 3 + 7$	$6 \times 8 + 3$	$3 \times 8 + 1$
$9 \times 8 + 8$	$7 \times 4 + 5$	$4 \times 3 + 3$
$5 \times 9 + 6$	$9 \times 3 + 6$	$3 \times 6 + 6$

(4) つぎの かけ算をしなさい。答は たしかめ
ましょう。

$\begin{array}{r} 8 \\ 142 \end{array}$	$\begin{array}{r} 9 \\ 126 \end{array}$	$\begin{array}{r} 7 \\ 635 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ 606 \end{array}$
$\begin{array}{r} 6 \\ 238 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \\ 590 \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \\ 359 \end{array}$	$\begin{array}{r} 9 \\ 453 \end{array}$
$\begin{array}{r} 369 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 514 \\ 5 \end{array}$	$\begin{array}{r} 483 \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 572 \\ 4 \end{array}$
$\begin{array}{r} 593 \\ 8 \end{array}$	$\begin{array}{r} 705 \\ 9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 624 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 810 \\ 5 \end{array}$



テ ス ト

(1) 5300のつぎは いくらですか。また
4820のすぐまえは いくらですか。

(2) 10000のすぐまえはいくらですか。
3000より 10おおい数はいくらですか。
5000より 100少い数はいくらですか。

(3) 100 は 10が いくつですか。
1000 は 10が いくつですか。

(4) つぎの計算をしなさい。

$\begin{array}{r} 73 \\ +77 \end{array}$	$\begin{array}{r} 87 \\ +59 \end{array}$	$\begin{array}{r} 48 \\ +86 \end{array}$	$\begin{array}{r} 97 \\ +35 \end{array}$	$\begin{array}{r} 76 \\ +77 \end{array}$
$\begin{array}{r} 424 \\ 276 \\ +86 \end{array}$	$\begin{array}{r} 592 \\ 135 \\ +94 \end{array}$	$\begin{array}{r} 373 \\ 78 \\ +436 \end{array}$	$\begin{array}{r} 63 \\ 294 \\ +187 \end{array}$	
$\begin{array}{r} 764 \\ -538 \end{array}$	$\begin{array}{r} 838 \\ -485 \end{array}$	$\begin{array}{r} 604 \\ -247 \end{array}$	$\begin{array}{r} 937 \\ -488 \end{array}$	
$\begin{array}{r} 5370 \\ -4790 \end{array}$	$\begin{array}{r} 6014 \\ -5055 \end{array}$	$\begin{array}{r} 1563 \\ -673 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4162 \\ -365 \end{array}$	

(5) つぎのかけ算を 下さい。

<u>21</u>	<u>32</u>	<u>113</u>	<u>462</u>
4	3	5	2
<u>81</u>	<u>25</u>	<u>173</u>	<u>682</u>
5	4	6	7
<u>4</u>	<u>7</u>	<u>4</u>	<u>3</u>
24	20	222	257
<u>5</u>	<u>8</u>	<u>9</u>	<u>7</u>
68	610	307	666

(6) やおやさんが きゅうり 1本6円で 240円仕入れ これを8円ずつに売るつもりだそうです。

ぜんぶでは いくらもうかることになるでしょう。

(7) やおやさんは 上の 240本の中で 大きいきゅうり 158本は8円に売り, そのほかの小さいのは7円ずつに売ったそうです。

じっさいのもうけは いくらだったでしょう。

また, はじめ考えていたもうけとは どれだけちがったでしょう。



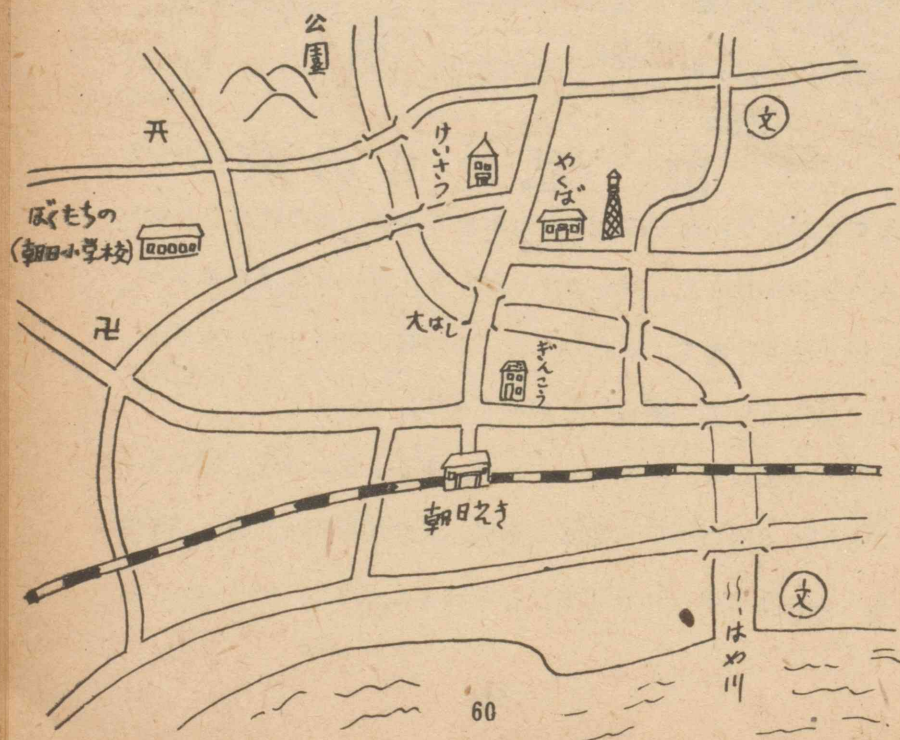
III 私たちの町

あきら「きのう、ぼくの家きたおじさんに、この町のことをいろいろきかされて、何もわからなくて、ずい分こまりました。」
 よし子「私も、道で、よその人に、この町のことをきかれても、よく知らないで、困ることがあります。」
 先生「みんなも、そういうことが、あると思います。私たちのすんでいる町について知ることは、大せつなことです。これから みんなで手わけをして、しらべましょう。」

一 町の地図

はじめに、町ぜんたいのようすを見るために、学校の北の方の、こうえんのある岡に行きました。先生が持っているしゃつた町の地図とくらべて、見えるおもなたてものをしらべたりしてから、かんたんな地図をかきました。

下の図は、そのとき、あきら君がかいた地図です。



- (1) 干, 卍, 文,)(のしるしのもは何でしょう。
- (2) この地図をみると、この町の一番にぎやかな通りはどれでしょう。
- (3) 朝日えきから学校までどういけばいいでしょう。

私たちも、自分の学校のまわりの地図をかいて見ましょう。

あきら君はできた地図を、よし子さんのとくらべてみました。あきら君の地図では、えきから学校までは、お寺の方をまわるのがちかいですかよし子さんの地図では、けいさつの方をまわる方がちかくなっています。

二人はいろいろ考えて、実さいにはかってみようということになりました。

二人はどうしてはかったらよいか相談しています。どんなしかたがあるでしょう。

私たちも考えましょう。

二 きよりしらべ

二人は つぎのようなしかたを考えました。

- (1) 二人で手わけして、両方の道を歩いて、歩数をしらべる。
 - (2) 100歩あるいて、そのきよりははかって、それをもとにしてはかる。
 - (3) 100mを何歩で歩けるか歩いてみて、その歩数をもとにしてはかる。
- どのしかたが一番いいでしょう。

二人は(3)のしかたですることに決めました。

先生から巻尺をおかりして、学校の前の道に 100mのきよりははかって、それが何歩であるけるか歩いています。

ほかの友だちもこれを見て、いっしょにはじめました。私たちもしてみましよう。



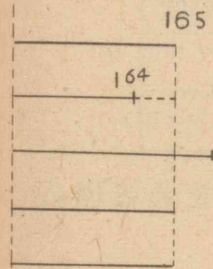
あきら君は、100mを165歩で歩きました。

と中で1回では、わからないと思ってもう一回やってみました。165歩でした。

右の表は、こうしてあきら君が5回歩いてみたものです。

一回	165歩
二回	164歩
三回	165歩
四回	166歩
五回	165歩

- (1) あきら君はどうして5回もしてみたのでしょうか。



(2) あきら君は、100mを何歩で歩くといえいいでしょう。左の図をみて考えましよう。

一回	181歩
二回	182歩
三回	180歩
四回	183歩
五回	184歩

(3) よし子さんの歩いたのは、右の表のようです。よし子さんは、100mを何歩であるくといえいいでしょう。

- (4) 私たちも、自分が100mを何歩で歩くといえいいか考えましよう。

あきら君とよし子さんは、100mを歩く自分の歩数がわかったので、それをもとにして、えきから学校までのきよりははかることにしました。

あきら君は、165歩ごとに指を一本おって、またはじめからかぞえました。歩いてみたら、きよりはつぎのようになりました。

まわり方	おった指の数
お寺の方をまわる	19
けいさつの方をまわる	21

あきら君のはかり方で、お寺の方をまわる道のりは、どれくらいでしょう。

また、けいさつの方をまわる道のりはどれくらいでしょう。

どちらがどれだけ遠いでしょう。

そこへ、よし子さんが来ました。そして、あきら君と同じように、お寺の方をまわるのが近いことがわかりました。そしてよし子さんは、地図をかきなおしました。

あきら君とよし子さんが、このことをみんなに話しますと、みんなは、町のおもな所のきよりははかってみようということになりました。みんなで手わけをしてはかって、つぎのようになりました。

学校—お寺—えき	1900 m
学校—けいさつ—えき	2100 m
学校—お寺	700 m
学校—お宮	500 m
学校—役場	1100 m
学校—けいさつ	900 m
学校—川岸の学校	3700 m
役場—火の見	400 m

そこへ先生がいらっしやって、

「よくしらべましたね。ずい分大きい数になりましたが、長さをあらわすとき1000mを1キロメートルという単位で表わします。」

といて教えてくださいました。

長いきょりを表わすのに 1 キロメートルという単位をつかう。これは 1 km とも書く。

$$1 \text{ km} = 1000 \text{ m}$$

みんなは、はかった長さを、km 単位で書いています。km と m のさかい目に・をうつしかたでして

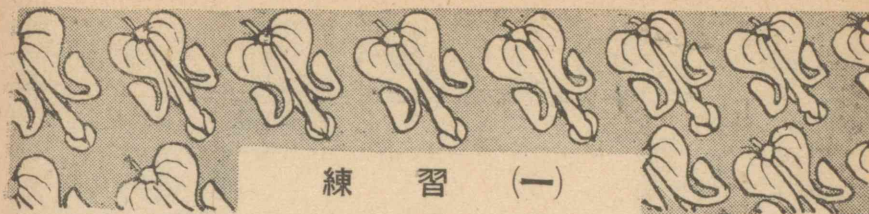
います。1900 m は 1.900 km 0 をとって 1.9 km とも書く。

く。

私たちも、このしかたで、書いてみましょう。

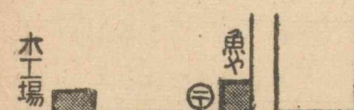
つぎのところのきょりは、それぞれ何キロあるでしょう。

けいさつ——役場	役場——えき
けいさつ——えき	お寺——えき
学校——火の見	けいさつ——火の見
お宮——お寺	お宮——えき
えき——火の見	川岸の学校——えき



練習 (一)

(1) かおるさんたちのはんの人たちは、こんどの日曜日に、かおるさんの家で、こども会をすることになりました。組のお友だちにかおるさんの家のあんないずとプログラムを書いてくばりました。あんないずは、左のようでした。



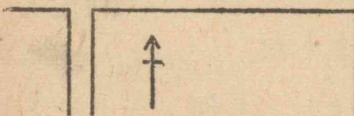
ないずは、左のようでした。

(い)「文」というしるしは何ですか。



(ろ) ㄣのしるしは何ですか。

(は) ↑のしるしは何ですか。



(に) 学校から、かおるさんの家へ行くまでの道じゆん

を、せつめいしてみましょう。

(2) 300 m の道を 3 cm であらわしたあんないずでは 500 m は何センチになっているでしょう。このずで 8 cm のところは じっさいの何メートルにあたりますか。じっさいの 1 km はどれだけの長さにあらわされているでしょう。



テ ス ト

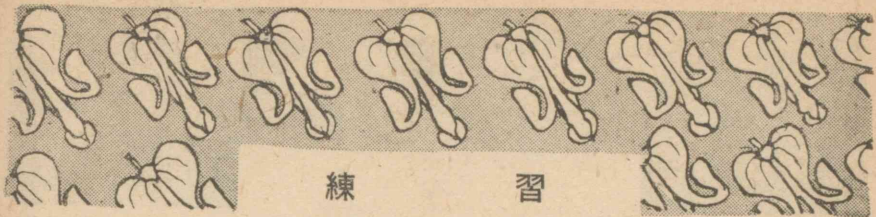
(1) 山本君は 100 m を何ぼであるくかをしらべました。同じところを5かいくりかえして、はかって右のような表にまとめました。100 m を何ぼであるくといえはいいでしょう。

か い	ほ す う
1	150
1	152
3	151
4	151
5	151

(2) 山本君は 家から学校までを これをもとにしてはかってみました。ほすうを数えて100 m になった時ごとに 指を折って、門から30 m ほど前に来た時に、指は6つおってありました。

山本君の家から 学校まではおよそ何メートルといえはいいでしょう。

(3) 田中さんの家は学校から北へ300 m 行き、その十字路を右へ直角におれて50 m 行き、その左側にあるポストの所の道を直角に左にまがり、かどから3げん目だといひます。これをあんないずに表わしてごらんさい。



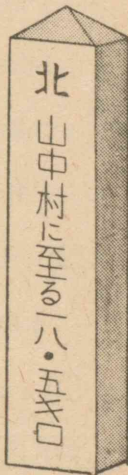
練 習

(1) 朝日えきの前には右のような道しるべが立っています。朝日えき前から山中村までは 何キロメートルですか。それは何キロと何メートルになりますか。

(2) 山中村から北へ13 km はなれたところに 佐野町があります。朝日町と佐野町とはどれだけ はなれているでしょう。

(3) つぎのきよりを それぞれ()の中のたんいであらわしなさい。

- 350 錢(円) 2.8 円(錢) .75 円(錢)
- 8.7 m (cm) 640 cm (m)
- km km
- 1.400 (m) 3.500 (m)
- km km
- 4.2 (m) 8.3 (m)
- 2.4 km (m) 5.3 km (m)
- 7100 m (km) 9000 m (km)
- 6500 m (km) 640 cm (m)





テ ス ト

(1) つぎの□の中にてきとうな数を入れなさい。

1 km = □ m, 10 cm = □ m

5000 m = □ km, 4 km = □ m

3 km と 200 m = □ km

8.6 km = □ km と □ m

(2) 1 cm は何ミリメートルですか。

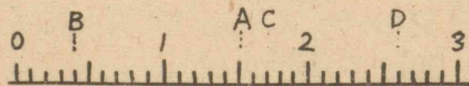
4 mm は何センチといえはいいでしょう。

(3) よし子さんは 一年生の時からのしん長を左

学年	しんちょう
1	112.8 cm
2	118.1
3	121.7
4	125.2

のような表にあらわしました。それぞれ 何センチ何ミリかをいつてごらんください。また、mm 単位で いてごらんください。

(4) つぎのせんは 3 km をあらわしています。



A が 1.5 km をあらわしていると B, C, D はそれぞれ 何キロをあらわしていますか。

三 私たちの家

あきら君たちは 町のおもな場所の間の道のりをしらべましたが、学校から自分たちの家までの道のりをはかってみたらどうだろう という話ができました。

きよし君は 前にしらべた 道のりをもとにして、学校から自分たちの家までの道のりがわかるといつていますので、そのしかたを発表してもらうことにしました。

きよし君は つぎのように せつめいしました。

学校—お寺	500 m
学校—お寺—えき	1400 m
学校—けいさつ	900 m
学校—けいさつ—えき	400 m
学校—お宮	1100 m

「このようなことは 前にしらべてありますから、これをもとにして しらべられます。(65 ページ)

ぼくの家は けいさつから 30 m ほどの所だから 学校からは 930 m とみればいいでしょう。」

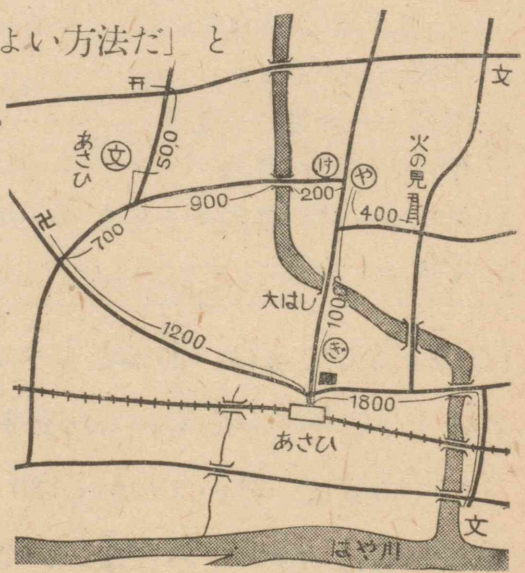
きよし君の このせつめいで みんなはな なるほど と思いました。

この時 かず子さんは「前に作った地図の道をせんであらわしたものをプリントしていただく、そのプリントには 町のおもなたてももの間の道のりを書き入れておく、自分の家からその中のおもなたてもものあるところまでの道のりをしらべて めいめい書き入れる……。

このようにすれば はやくて まちがいなくできるのではないのでしょうか。」といました。

先生も「それはよい方法だ」とおっしゃいました。

プリントは右のようなものでした。
 ㊦はけいさつ、㊧はやくばだそうです。たんいはメートルです。



みんなはめいめい おもなたてもものあるところから じぶんの家までの道のりをはかりました。そして

「わたくしの家はやくばから 200 m ぐらいよ」とか、「ぼくの家は えきから 350 m 学校の方になっているよ。」などと話しています。

- やくばから学校のはんたいがわに 200 m の家は 学校から何メートルでしょう。
- えきから 350 m 学校に近い所にある家は 学校から 何メートルあるといえるでしょう。

組の生とが みんなはかって来たものをはんごとに一つの表にまとめました。

な ま え		きょり(km)
第 一 ば ん	林 京子	1.3
	大下 すすむ	.8
	川上 たけお	.9
	大野 はる子	1.2
	田村 秋一	1.1
	山本 國子	1.0

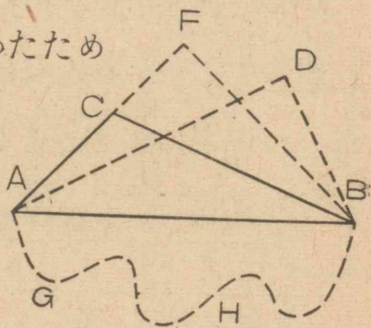
○ 第一ばんでは学校から 一番遠いのは だれの家でしょう。また 一番近いのは だれの家でしょう。

京子さんは 自分たちのはんの表で たけお君の家と はる子さんの家とでは そんなにはなれていないのに300メートルもちがうのは おかしいと思いました。

それで たけお君とはる子さんに、はかり方がまちがっているのではないかどうかを たしかめました。

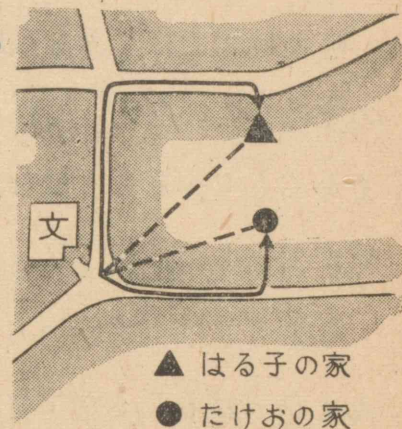
たけおさんも はる子さんも5かいもしらべたので はかりかたはちがっていない。ただ、学校からの道じゆんが、二人でちがったためであることがわかりました。

AからBへ行く道のりでもAからBへまっすぐ行くほかに C.F.D の方をまわって行く方法もあります。また、AよりG.H をまわって行くこともできます。このような時に AからBまでまっすぐ行く時の道のりをAとBとの直線きよりといいます。



たけお君の家とはる子さんの家とは、学校からの直線きよりではほとんどかわらないが、通る道じゆんによって道のりがちがうことが わかりました。

ほかのはんでも 京子さんの気づいたことと同じことがでてきました。



きよし君は

「地図では 学校からけいさつしょまでという時には まっすぐはかった方が はかりいいね。学校からぼくたちめいめいの家までの 直線きよりは どんなになっているだろうね。」といたので、みんなは

「おもしろそうだ。」

「しらべてみましょうよ。」などといっています。

まず、どのようにしたら しらべられるかをそう だんしました。

どのようにしたら できるでしょう。

かおるさんは「町の地図をもとにしてしらべればいいでしょう。」といいました。

町の地図では おもな所はでていますが、みんなの家はでていない。それにこのような地図では、こまかくしらべることがむずかしい。というような意見がでました。

きよし君は「学校からめいめいの家まで糸をびんとひっぱることができればいいんだがなあ。」といたので みんなは笑いました。

京子さんは「めいめいのはんで書き入れたプリントをもとにして作れないかしら。」といいました。

先生は「このプリントの道のりは200mを1cmのわりあいであらわしてあります。みなさんのほそくしたきよりは、そのわりあいで書きこむことが大せつです。」とおっしゃいました。

- 400 m は 何センチに表わせればいいでしょう。
- 500 m は 何センチに表わせればいいでしょう。
- 1 km は 何センチに表わしますか。

このように考えて 正しくあらわせば、学校からの直線きよりも しらべられそうです。

みんなは はりきって とりかかりました。

「1mmちがっても 大きなちがいになるそうだよ。」などという声もきこえます。

○ この地図の上で1mmは 実さいの何メートルにあたるでしょう。

○ この地図の上で3mmは 実さいの何メートルにあたるでしょう。

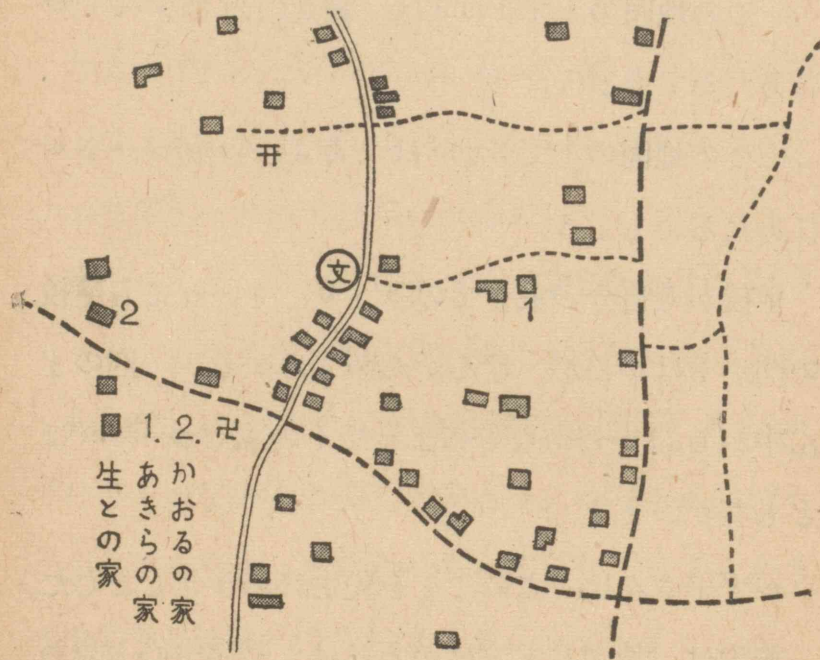
学校から自分の家までのきより といっても学校の門からはかるか げんかんからはかるか、庭のまん中からはかるかなどによってその長さが50mほどもちがいます。

かず子さんは このことを先生におききしました。

先生は「地図などではかるには その中心と思われる点からのきよりをみればよいのですが、みなさんのしているのを見ると、校門のところからはかっているようですから、みんな校門からの道のりをは

かるようにしましょう。地図では山の高さでもどの点をはかったかがちゃんときめてあるのです。」と教えていただきました。

このようにして プリントにめいめいの家を書きこみました。



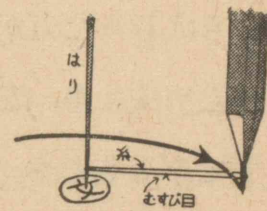
みんなで力をあわせて上のようにつくりました。ものさしで直線きよりははかっていたあきら君は「ぼくの家とかおるさんの家とでは学校か

ら同じきよりにあるんだね。」といたのでみんなもはかっています。

あきら君は「ほかにも学校から同じきよりの家がありそうだがすぐにみつけるしかたはないものかしら。」といたのでこれを考えてみることにしました。

○ものさしで学校から家までのきよりははかって、それをおぼえておき、いちいち同じようにはかってみてしらべる。

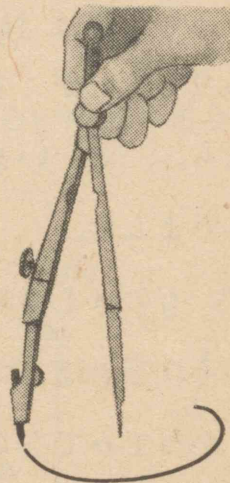
○学校のまん中のところにはりを立て学校から自分の家までのきよりとひとしく糸の長さをきめ、そのはしに鉛筆をおいて円をかくと学校からのひとしいきよりを知ることができる ということを考えだしました。



このようにしてしらべていると糸の長さをきめるのに大そう手すうがかかるのでこまりました。

ちよ子さんは いつか にいさんが円をかくのに
コンパスを使っていたことを思い出して、そのこと
をみんなに話しました。

- コンパスを使うと どんなべ
んりなことがあるでしょう。
- コンパスを使って円をかくお
けいこをしてみましょう。
- コンパスで 円をかくには右
下からはじめた方がよいか、左



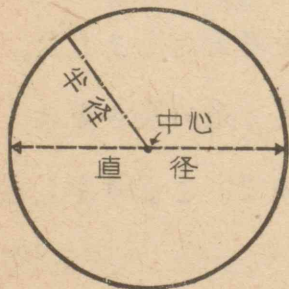
下からはじめた方がよいか、また、右まわりにした
方がしやすいか、左まわりにした方がしやすいかた
めしてみましょう。

右まわり 左まわり

円のかき方を 練習している



とき 先生はコンパスのはりを立てた点を **円の中
心** といい、はりの先と鉛筆の先
までの長さを **半径** といい、三年
で学んださしわたしは、**直径** とも
いうことを教えてくださいました。



コンパスを使って 学校からひとしいきよりを
みつけるのは かんたんにできるようになりました。
た。

学校から50mまで、100mまで、150mまでな
どと 50mごとに円をかいて、その間に、お友だ
ちの家が何げんずつあるかをしらべたりしていま
す。

78ページの図や、自分たちの作った地図につい
て、私たちも してみましょう。

あきら君は 自分の家と、かおるさんの家とは
学校から ひとしいきよりにあることから、ただ
学校から 300mといっても わからないことに
気がつきました。このことをみんなに話しますと、
みんなは、つぎのようなことを考え出しました。

○ あきらさんの家はけいさつの方へ何メート
ル かおるさんの家はお寺の方へ何メートルとい
えばわかる。

このことに対しては「直線きよりでいっている
のではなくて、道のりをいっているようでおかしい。」
という意見が出ました。

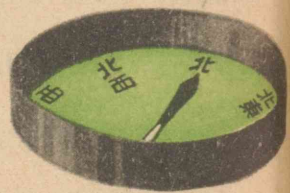
ひでお君は 三年の時にじしゃくを使って方が
くを いいあらわしたことを思い出しました。

○ 学校から東何メートル、西何メートルとい
えば はっきりする。

「しかし、まっすぐ東や西にあたっているところ
はいいが、東にも南にもあたっていないところは
表わせないわけだね。」という意見が出ました。

みんなは考えています。

きよし君が「じしゃくを持っ
てきて しらべてみようよ。」
というので じしゃくを見て
しらべてみることにしました。



○ 北と東との間は「北東」北と西との間は
「北西」南と東との間と「南東」南と西との間は
「南西」ということがわかりました。

・ 私たちもじしゃくを見てしらべてみましょう。

このかんけいを 図に表わす
と、右のようになります。

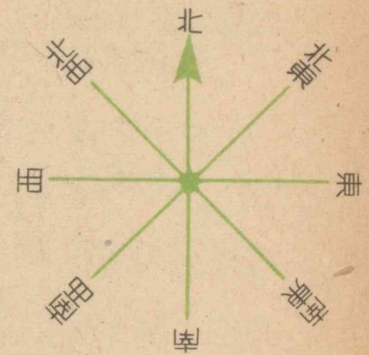
この八つの方位のなまえを
八方位といっています。

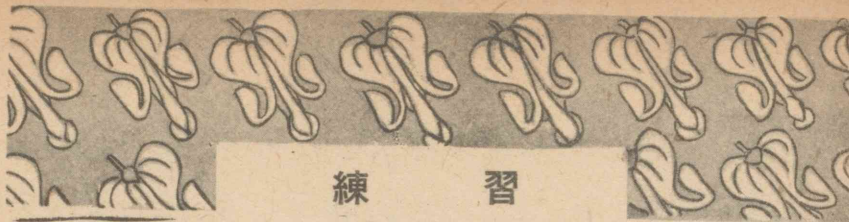
北にも 北東にも当たっていな
いところは「北東より少し北に

あたる。」とか「北と北東との間にあたる。」とか、

「北より少し北東より」というように表わせば、
だいたいまにあいます。あきら君たちは この方
位の表わし方を使って 学校から自分たちの家ま
でのきよりを「学校から南東 400mにある。」とい
うようにして表わすことができるようになりました。

また、78ページの生との家の地図で、学校の北に
ある家、北と北東の間にある家、東と南東との間
にある家などをそれぞれ何げんかをしらべてみて
います。私たちも、自分たちで作った図によって
このようなことをしらべてみましょう。





練習

(1) 直径 6 cmの円をつかってもようを作ろうとしています。半径を何センチにすればいいでしょう。

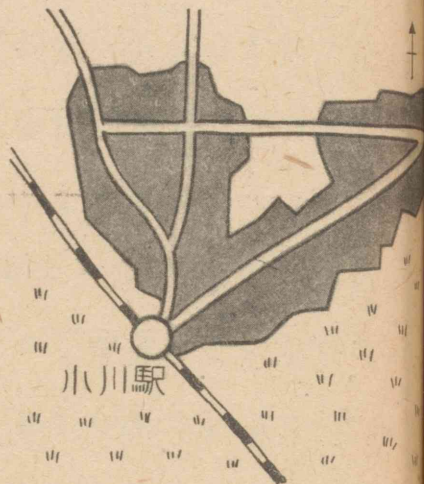
(2) 右の地図では 鉄道はどの方位からどの方位に通っていますか。

小川駅の前で道路はどの方位に向って通っていますか。

(3) 北西と 南西との間の角は どのように

なっていますか。ある一つの場所から 北東と南西とはどんな関係になっていますか。

(4) 山中君の家は 学校から北、1.3 kmのところにある。花田さんの家は 南 .8 kmのところにあるといひます。学校から山中君の家までは 花田さんの家までより 何メートル遠いでしょう。また、二けんの家はどれだけはなれていますか。



テスト

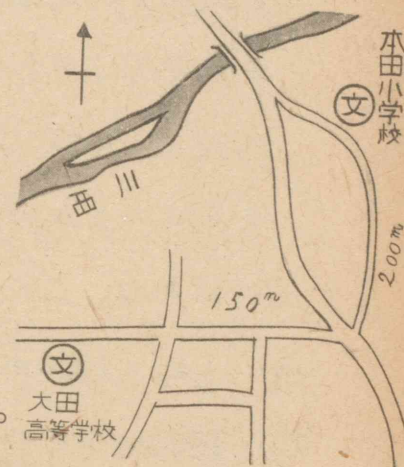
(1) 運動場に直径 16mの円がかいてあります。

この円と同じ大きさの円を もう一つかこうと思ひます。半径を何メートルにしてかけばいいでしょう。

(2) 太田高等学校から本田小学校に行くのにどういけばよいかをたずねたところ、右のようなあんない図をかいてくれました。ことばでいえば、どういったら

いいでしょう。また、高等学校より 小学校はどちらの方位にありますか。小学校より 高等学校はどちらの方位にあるといひますか。

(3) きよ子さんの家はたけし君の家の南にあります。つぎお君の家はきよ子さんの家の南にあります。たけし君の家はよし子さんの家のどちらにありますか。また、つぎお君の家は たけし君の家のどちらに当りますか。



この単元のまとめ

- ①地図やあんない図では 実さいの長さをちぢめてかいてある。
- ②地図やあんない図を見て、知らない所でも、それをたよりにしてたずねることができる。
- ③長さの単位にはメートルやセンチメートル ミリメートルのほかに"キロメートル"というのがある。これを"km"ともかく。
- ④ 1 km=1000 mである。
- ⑤ 1900 mをキロメートル単位で1.9 kmともかき「一てん九キロメートル」とよむ。この時の・は2円45銭を2.45円として・が円の位を表わしたようにキロメートルの単位をあらわしている。
- ⑥ 円はコンパスを用いてかくことができる。右の円で(い)は中心,(ろ)は直径,(いろ),(いは),(いに)は半径という。
- ⑦ 方位を表わすには東、西、南、北のほかに北東、南東、北西、南西などを用いる。



練習(一)

(1) つぎの 計算を しなさい。

$\begin{array}{r} 1237 \\ +7896 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 1359 \\ +5793 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 2464 \\ +4687 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 3575 \\ +4865 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 2364 \\ +5643 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 7164 \\ +1836 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 4828 \\ +3993 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 2582 \\ +2679 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 5186 \\ -1796 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 8168 \\ -6689 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 9221 \\ -5743 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 7453 \\ -2697 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 3054 \\ -1087 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 8350 \\ -4962 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 9541 \\ -6766 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 10000 \\ -8760 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 453 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 729 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 607 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 546 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 5 \\ \times 49 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \\ \times 38 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 7 \\ \times 247 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \\ \times 590 \\ \hline \end{array}$

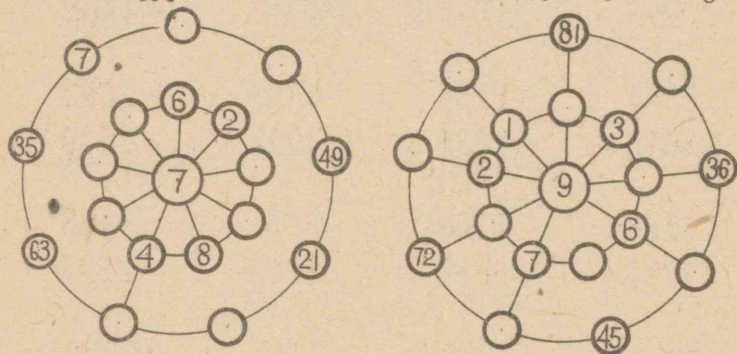
(2) つぎを () の中の単位であらわしなさい。

- 3 km (m), 4900 m (km), 5 cm (mm)
- 20mm (cm), 800cm (m), 2 m (mm)
- 356銭 (円), 3.5 円 (円と銭), 20円 (銭)
- 38mm (cm), 800 m (km), 430cm (m)

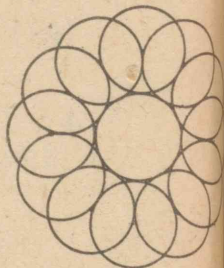


練習(二)

(1) まん中の数に つぎのまるの数をかけて、そとがわの数になるように かき入れなさい。

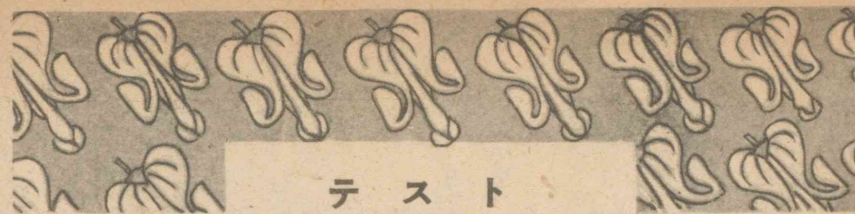


(2) 右の図は いくつの円で作ったものでしょう。



(3) 一さつ8円のノートを組の人たちが 48さつちゅうもんしました。その代金はいくらでしょう。

(4) 1と2と二つの数字をくみ合わせると12, 21という数ができます。1, 2, 3の三つの数字をくみ合わせてできる二けたの数はいくつあるでしょう。また三けたの数は いくつできるでしょう。

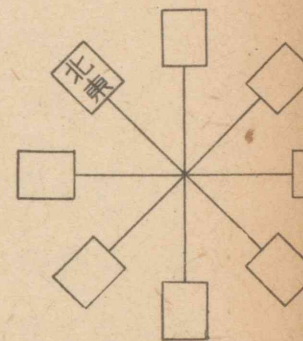


テスト

(1) つぎの 計算をしなさい。

$$\begin{array}{r} 179 \\ + 468 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8201 \\ - 8139 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 523 \\ \times 7 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8 \\ \times 641 \\ \hline \end{array}$$

(2) つぎの□にてきとうな ことばを 入れなさい。

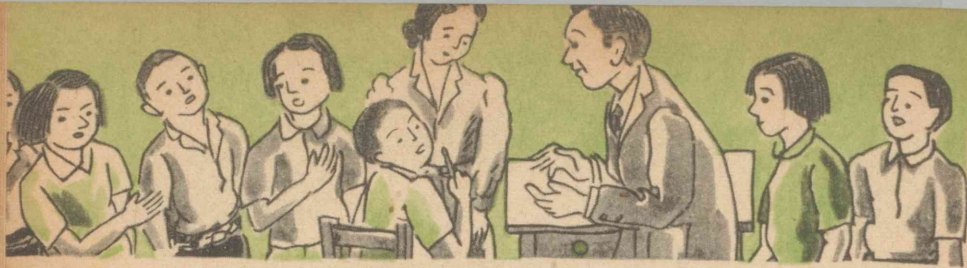


(3) 北東の方位と直角になっているのは どの方位とどの方位ですか。

(4) 南東に向って進んでいる時 右の方からふいて来る風は 方位でいえばどちらからどちらへ ふう風といえは いいでしょう。

(5) 北に向って 1700m 歩き, そこから北東に向って 800m 歩き, それから北へ向ってまた 600m 行きました。歩いた道のりは何メートルですか。また, キロメートル単位でいってごらんください。

(6) 1 kgは何グラムですか。3600 gをkg単位で表わしてごらんください。



IV 水 泳

一 水泳のじゅんぴ

ジー ジーと、せみのなき声が耳にうるさく感じられるようになりました。あきら君たちの学校では、近所のはや川で、毎日水泳をします。

水泳をするには、からだげんこうでないで自分のからだをますます悪くしてしまうばかりでなく、先生やお友だちにも、めいわくをかけることになるので、水泳をする前には、いつも 身体けんさをうけることになっています。

あきら君たちは、一週間 毎日、午後2時に 体温の測定をすることになりました。

・ 体温計と、温度計とは、どんなところがちがっているでしょう。



・ 体温計の目盛りは何度から何度まで、目盛ってありますか。

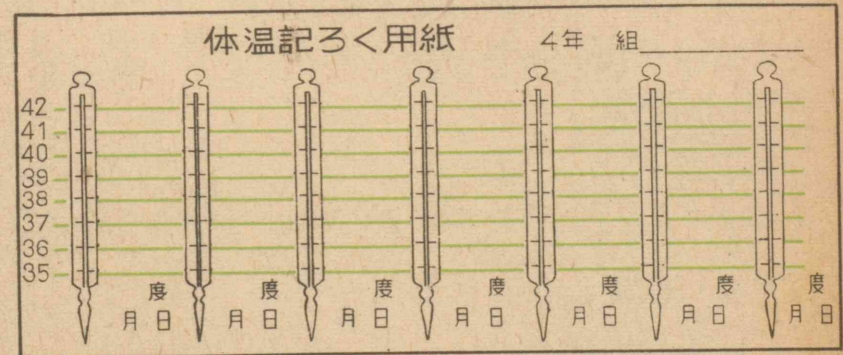
・ 一度のあいだは、何等分されているでしょう。

(体温計を使うときの注意)

・ からだのあせをよくふいてから、はさむようにしましょう。

・ 使ったら ケースに入れて それからすぐに何度もふって、水銀をさげておきましょう。

今日は、はじめての体温をはかる日です。先生がつぎのような紙をみんなにくばってくださいました。あきら君は、体温を使うときの注意をよく守って、体温をはかりました。そのときの体温表はつぎのようでした。



あきら君は、体温計の目盛りをま上からまっすぐに見て、水銀ののぼったとおりに記録用紙に書き入れました。

水銀のあたまは、36度と37度のあいだにあります。もう少しよく注意してみると、36度のつぎの小さな目盛りから数えて、7番目のところに水銀の先があることがわかります。

そこで、あきら君は記ろく用紙の体温計の画の下の(度)の中に、367と書き入れましたが、「これはへんだぞ」と思いました。

○ あきら君は、なぜへんだと思ったのでしょうか。体温が367度ではおかしいと思ったのは、あきら君が病気のとくに、「ずいぶん熱があるわ、38度4分もあってよ。氷まくらをいれてあげましょうか。」とおかあさんがおっしゃったことばを思い出したからです。



そこで、36度7分と書こうと思いましたが、()の中にはうまく書けません。

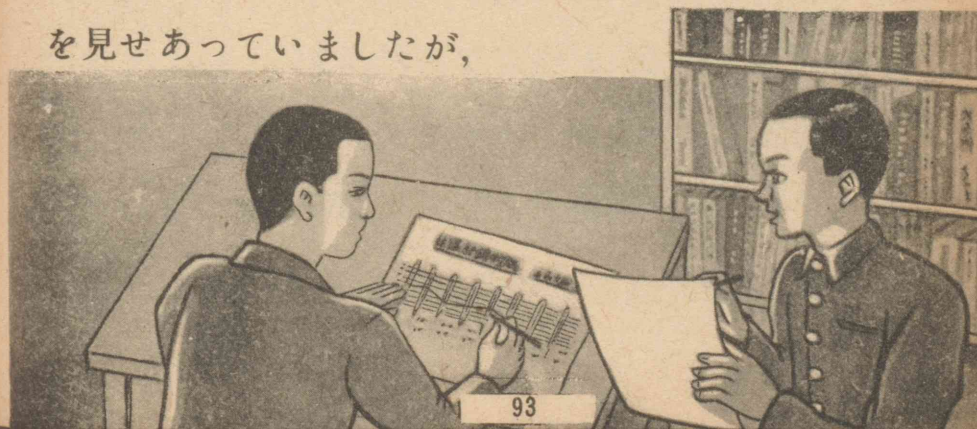
そこで、あきら君はここが度のしるしだというおぼえのために、36.7 というように6と7とのあいだに・をうちました。

先生にこのことをお話したら、「なかなかよくふうをしたね。」といってほめられみんなにも先生はあきら君の考えをお話しになりました。

つぎの日に、あきら君は体温をはかったら、こんどは36.8度ありました。

「きのうより1分上ったね」とそばにいた秀雄君がいました。

あきら君と秀雄君とはおたがいに記ろく用紙を見せあっていましたが、



秀雄「あきら君のきのうの体温のあらわしかたは
とてもおもしろいね。」

と いいながら 秀雄君は、体温計の目盛りをあ
きら君に見せて、

「36度, 36.1 度, 36.2 度…………… 36.9 度, 37
度ね, 1分ずつ上って ちょうど10分になると
37度になるね。ふつうの数と同じだね。だからきつ
と よせ算やひき算もできると思うよ。」

あきら「そうだね。1分は .1, 2分は .2 ……………
と書いていけばいいんだね。」

秀雄「あきら君は きのうは 36.7 度だったね。
きょうは 1分上っているから
今あきら君のいったように書けば……………」

と いった 秀雄君は 右のような計
算をして「ね, 36.8 度になるだろう。」

と 秀雄君は うれしそうです。

あきら君が 秀雄君の記ろく用紙を見ると、き
のうは 36.9 度だったのが、きょうは 36.7 度

です。そこであきら君は 右の
ような計算をしてみました。

$$\begin{array}{r} 36.9 \\ - 36.7 \\ \hline .2 \end{array}$$

記ろく用紙の体温計の画でた

しかめて、まちがないこともわかりました。

○ 1を10等分した数, すなわち $\frac{1}{10}$ を, .1 と書
き, てんいちと読みます。

○ .1 のような数を 小数 といいます。

○ .1 の .を 小数点といいます。

○ 小数のよせ算, ひき算は 小数点をたてに
きちんとそろえて, ふつうの数のよせ算, ひ
き算と同じようにして, 答にはあとで 小数点
をたてにそろえて うつておけばいいのです。

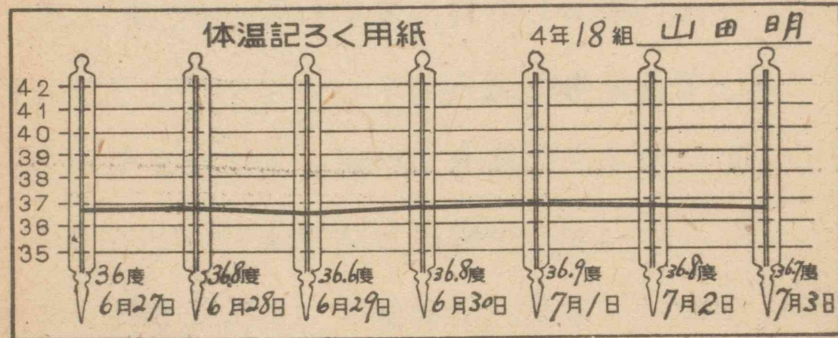
つぎの計算を しなさい。

$$\begin{array}{r} 8.9 \\ + 5.6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6.7 \\ + 3.2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} .84 \\ + .19 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8.57 \\ + 5.16 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4.11 \\ + 3.95 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 7.5 \\ - 5.3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8.1 \\ - 4.4 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 9.9 \\ - 7.9 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 9.87 \\ - 7.93 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8.26 \\ - 7.57 \\ \hline \end{array}$$



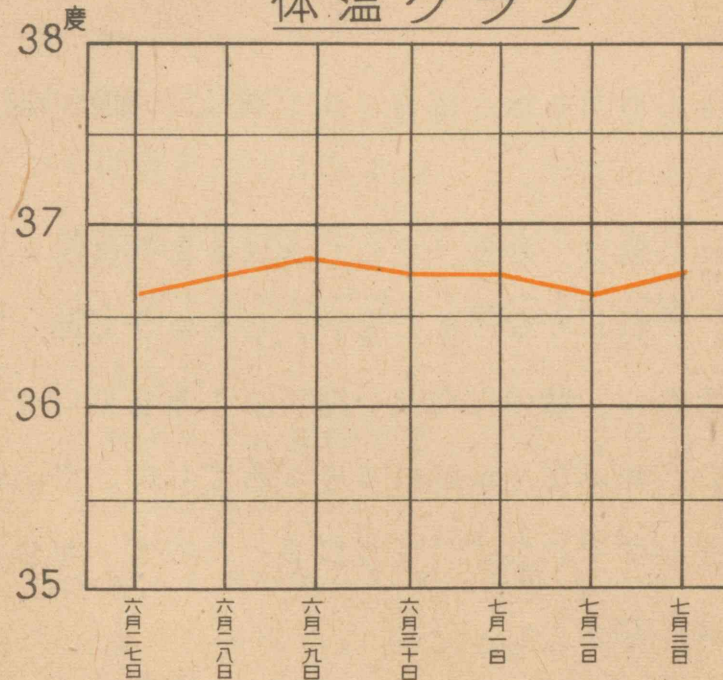
きょうは みんなで 体温の測定をせいりしました。下の用紙はあきら君の体温の記ろくです。



あきら君は この水銀のあたたまを もつとは
 きりわかるように、赤えんぴつで つないでみ
 したら、とてもはつきりしてみやすくなりまし
 かず子さんは あきら君のしているのを見て
 かず子「あきらさんは、とてもいいふうをし
 わね。」

とって、考えていましたが、方眼紙を使って
 こんどは、つぎのように、自分の体温を書きあ
 わしてみました。

体温グラフ



- かず子さんの毎日の体温をよんでごらんなさい。
- あきら君の体温をかず子さんのようなグラフに書いてごらんなさい。

かず子さんの書いたようなグラフを、折れ線グラフといいます。

二 川の深さ

あきら君たちは 毎日 川で楽しく水泳の練習をしています。

きよし君は、昨日、すこし泳げるようになったので うれしくなってしまう、むちゅうで泳いでいるうちに、背のたたない深いところまでいってしまう、あぶなくおぼれるところでした。さいわい先生がすぐにたすけてくださったので 無事にすみました。

そこで、あきら君たちは、川の水泳場に、水の深さがすぐわかるように、くいを立てようということにしました。

先生が持ってきてくださった 2 m のくいに、みんなで目盛りをつけています。

50 m だけうめることにして、あとの 1 m 50 cm に目盛りをつけるようにしました。

はじめ、あきら君たちは、10 cm おきに目盛りを

右の図のように、メートル単位で書いてきました。

「水の面の近いところは、もうすこしまかく目盛をつけようよ。」

と、秀雄君がいったので .7 m から 1.2 m ぐらいまでのあいだは、1 cm ごとに目盛をつけました。

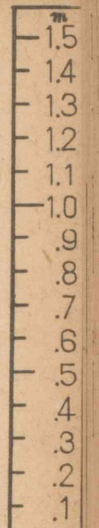
「これをメートル単位で書くには、どうしたらいいだろう。」

「10 cm は 1 m の $\frac{1}{10}$ だから .1 m

1 cm は 1 m の $\frac{1}{10}$.1 m の $\frac{1}{10}$ だから……。」

と、考えているところに、先生がいらっしゃったので、先生にお聞きして教えていただきました。

くいは 先生に 川の中に立てていただくことにしました。



1の $\frac{1}{10}$ を .1 と小数で書きます。

1の $\frac{1}{100}$, つまり .1 の $\frac{1}{10}$ を .01と書いてんれいいちと読みます。

川の水泳場には くいがあったので、もうみんなは あんしんして 元気で 毎日水泳の練習をしています。よく注意してみると、川の深さは

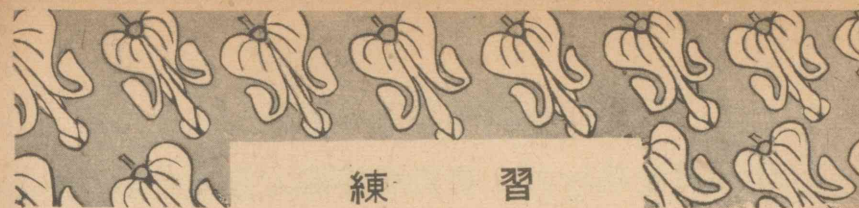
月 日	川の深さ
7月5日	. 7 8 ^(m)
7月6日	. 7 9
7月7日	. 8 3
7月8日	. 8 0
7月10日	. 7 8
7月11日	. 9 2
7月12日	. 9 0
7月13日	. 8 4
7月14日	. 7 9

いつもおなじでは ありません。あきら君は、まい日川の深さを くいを目盛りで読んで、ノートに記しておきました。

左の表は、はかった日とその深さをあらわしています。

・ 左の表を折れ線グラフにあらわしてごらん

なさい。そして、毎日のふえ高やへり高をいってごらんなさい。



練習

(1) つぎの数をメートル単位で書きなさい。

185cm, 2432cm, 29cm, 5cm

(2) つぎのよせ算を しなさい。

8.82 2.26 84.2 4.07 40.7
5.94 3.95 97.8 5.99 85.6

7.55 44.6 .35 .73 8.23
9.82 72.2 6.93 8.45 5.84

89.4 6.79 24 6.7 427
90.73 19.05 45.8 5.19 38.6

(3) つぎのひき算を しなさい。

32.7 5.48 56.4 7.95 36.5
21.6 4.38 47.1 6.87 14.2

79.3 82 508 4.98 8.94
58.7 63.7 419.2 2.99 7.85

3.72 8.45 62.8 8.06 49.5
1.64 5.76 59.39 7.98 23.64

この単元のまとめ

- ① 体温計を使って、自分の体温を正しくはかることができるようにする。
- ② 1を10等分した数、すなわち $\frac{1}{10}$ を、.1と書き“てんいち”と読む。
- ③ 1を100等分した数、すなわち $\frac{1}{100}$ を、.01と書き、“てんれいいち”とよむ。
- (4) .1 や .01のような数を小数という。
- (5) .1 の .を小数点という。
- (6) 小数のよせ算、ひき算は小数点をたてにきちんとそろえて、ふつうの数のよせ算、ひき算と同じようにして、答はあとで 小数点をたてにそろえて うっておけばよい。

$$\begin{array}{r} 36.7 \\ + .1 \\ \hline 36.8 \end{array} \qquad \begin{array}{r} 36.9 \\ - 36.7 \\ \hline .2 \end{array}$$

- (7) 97ページのかず子さんの書いたように、棒グラフのあたまを線でつないだようなグラフを折れ線グラフという。

テ ス ト

- (2) つぎの()の中の数で、いちばん大きなものに、○をつけなさい。
- (3.69, 2.98)(.45, 1.32)(.73, .69)(52.4, 39.8)
- (6.92, 3.4, .5)(.8, .72, .39)(.04, .93, .08)

- (2) つぎのよせ算を しなさい。

45.1	72.9	6.18	1.85	47.8
<u>63.7</u>	<u>84.6</u>	<u>5.99</u>	<u>6.83</u>	<u>78.4</u>
56.3	1.78	25.9	.34	5.02
<u>67.8</u>	<u>.83</u>	<u>62.81</u>	<u>4.29</u>	<u>.99</u>

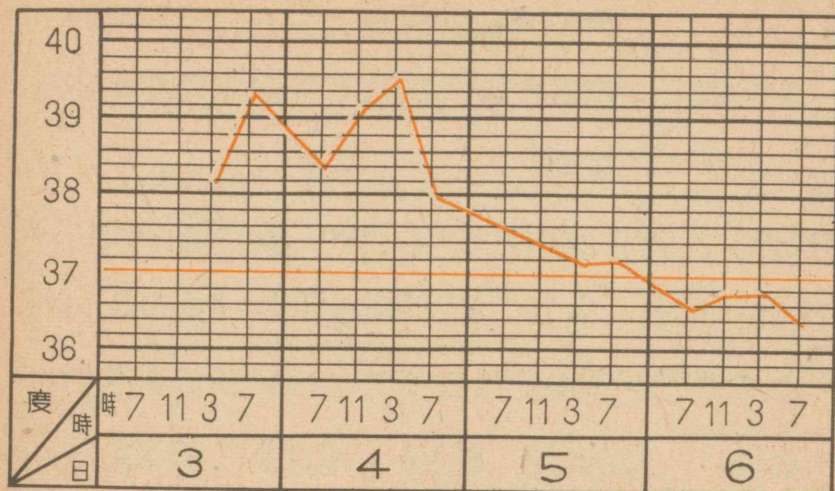
- (3) つぎのひき算を しなさい。

48.5	29.8	8.39	9.27	76.1
<u>29.1</u>	<u>17.9</u>	<u>7.42</u>	<u>5.42</u>	<u>61.5</u>
8.05	42	23.7	30	54.2
<u>.78</u>	<u>39.1</u>	<u>9.8</u>	<u>19.45</u>	<u>27.6</u>

- (4) つぎの上と下とをくらべて おなじものを、線をむすびなさい。

2800 g 8 cm 3円25銭 36度7分

3.25円 36.7分 2.8 kg .08m



(5) 上の折れ線グラフは、かず子さんが病気のときの体温をあらわしています。

(い) グラフを読んで、体温を右の表に書きなさい。

(ろ) いちばん高かったのは、何日の何時でしたか。

(は) 37度よりさがったのは、いつからですか。

(に) いちばん高いときは、36.7度より 何度高いでしょう。

日	時	体温 (度)
3	7	.
	11	.
	3	.
	7	.
4	7	.
	11	.
	3	.
	7	.
5	7	.
	11	.
	3	.
	7	.
6	7	.
	11	.
	3	.
	7	.

夏休みの自由研究

— グラフのかき方

あきら君に はがきが来ました。お友だちの清君から来たものです。

あきら君 おげんきですか、ぼくは、今
 いなかのおじいさんの家に、あそびに来て
 います。こちらは高い山の間にあるいなかで
 すから、夜などは寒いぐらいです。ひるなかで
 も二十五度ぐらいしかならないよ。おじいさんが
 おっしゃいました。山の中の家もおもしろいですが、
 ときどき海でもおよぎたいと思います。そちらに帰
 ったら、またいっしょにあそびましょう。あき
 ら君からもおたよりをください。
 さよなら

ひでお君があそびに来たので、このはがきを見せました。

ひでお「山の中のいなかはずいぶんすずしいらしいね。このへんとくらべてどれくらいちがうかくらべてみようよ。」

あきら「きのうの午後1時の温度は33度だったよ。」

おとといは30度だったけれど…。」

ひでお「きのうとおとといだけでなく一週間ぐらの温度についてしらべた方がいいね。」

あきら君は「天気しらべ」のノートを持って来ました。

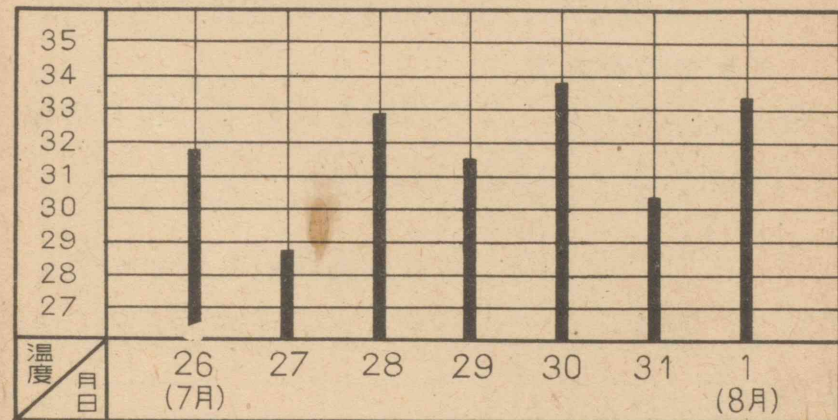
月	日	天気	午後1時の温度	その他
7	26	うすぐもり	31.8	
7	27	雨	28.7	
7	28	はれ	32.8	夕立があった
7	29	はれ	31.5	夕立があった
7	30	はれ	33.7	
7	31	うすぐもり	30.3	
8	1	はれ	33.4	

ひでお「これはグラフにあらわすともっとはつきりするね。」

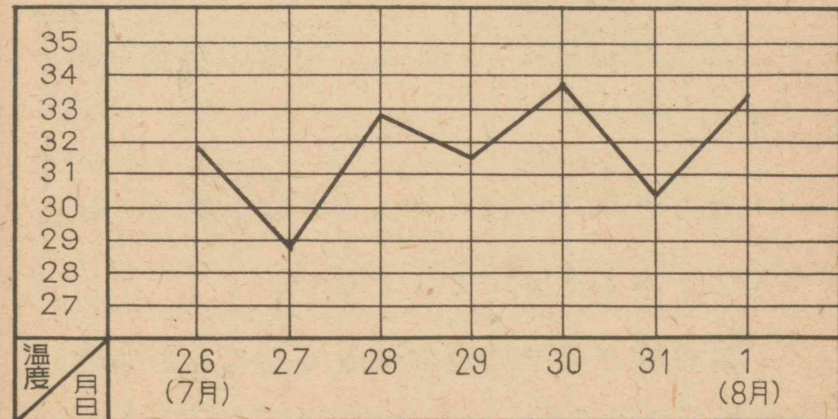
二人でべつべつにグラフをかいてみました。

あきら君のかいたグラフ

あきらくんのかいたグラフ



ひでおくんのかいたグラフ



あきら君のかいたグラフはぼうグラフで、ひでお君のかいたグラフは折れ線グラフです。

二人でくらべあわせて、どちらがよいか、どのようになおしたらよいかなどと話しあっています。

グラフのかき方

○ とちゅうに なみの線を入れて、毎日の温度の方がいをはっきりさせたのは、二人ともよい。

○ グラフの上の 毎日の温度のちがいがすくないと、温度のへんかがよくわからないから、温度の目盛をひろくする。

○ グラフの上の温度のちがいがあまり多すぎると、グラフが見にくいから、温度の目盛をせまくする。

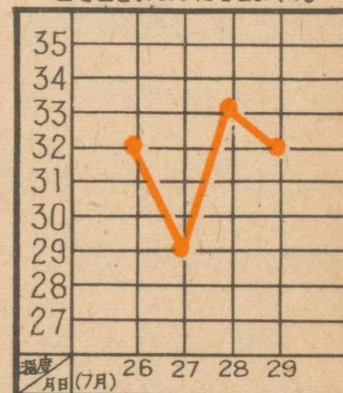
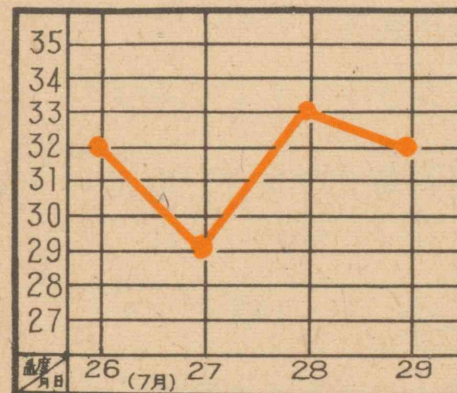
○ ぼうグラフのぼうのふとさは、あまりほそすぎても、ふとすぎてもよくない。

○ 折れ線グラフの点は大きくなならないように気をつける。

線のふとさはあまりふとくならないように、はつきりかく。

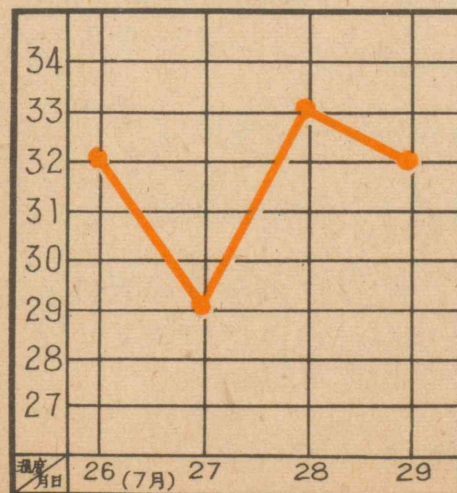
○ 折れ線グラフのあがり・さがりがあまりすくなすぎると、温度のへんかがよくわからないから、日と日とのあいだをせまくしたり、また温度の目盛りをひろくしたりして、折れ線のあがり・さがりを大きくする。

日と日とのあいだをせまくする



温度の目盛りをひろくする

日と日の間をせまく 温度の目盛りをひろくする



ぼうグラフにするか、折れ線グラフにするか

○ぼうグラフは、まい日の温度がはっきり出ているから、何日の温度が何度であるか、何日と何日の温度のちがいが何度であるかなどを知りたい時にべんりである。

○折れ線グラフは、温度のようにずっとつながっていて、ふえたり、へったりしてへんかするものをあらわす時にべんりである。

・ぼうグラフ又は折れ線グラフで、温度の一番高い日はいつか。

一番ひくい日はいつか。

・ぼうグラフで、温度の一番高い日と一番ひくい日とでは、どれだけちがうか。

・8月1日は7月28日より何度高いか。

7月28日は7月31日より何度ひくいか。

・はれ、うすぐもり、雨、夕立などの天気と温度とのあいだにかんけいがあるか。

二 おつかいに行くじゅんじょ

あきら君はこのあいだから、おかあさんの生まれたしんるいの家に遊びに来ています。なかよしのすすむおじさんからべんきょうをならったり、いっしょにあそんだりしています。町のようすもだんだんわかってきたので、一人でおつかいに行くこともあります。

おじさん「あきら君、これから学校前の本屋とゆ

うびんきよくと川むこうのくすり屋に行くのだが、いっしょに行かないかね。」

あきら「はい、つれていってください。」

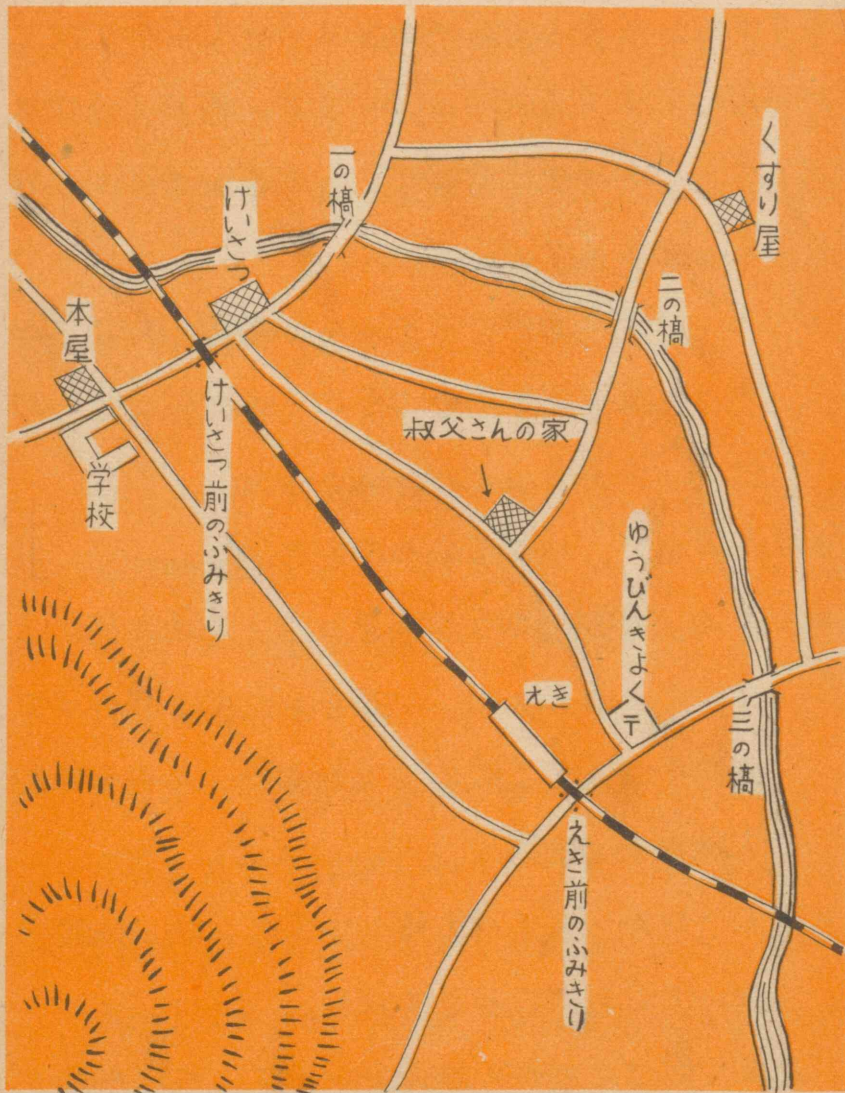
おじさん「本屋とゆうびんきよくとくすり屋のう

ち、じゅんじょは、一番さきにどこに行つて、そのつぎにどこに行こうかね。いくとおりの方法があるだろう。」

あきら「さあ、ちよつと待つてください。地図をかいてしらべてみますから。」

あきら君はこの町の地図をかいて、本屋やゆう

びんきょくやくすり屋のいちを地図の上に書き入れました。そして 地図の上で、一番さき、二番目、三番目に行く方法をいろいろ考えました。



- (1) 一番さきに本屋
二番めにゆうびんきょく、三番めにくすり屋
- (2) 一番さきに本屋
二番めにくすり屋、三番目にゆうびんきょく
- (3) 一番さきにゆうびんきょく
二番めに本屋、三番めにくすり屋
- (4) 一番さきにゆうびんきょく
二番めにくすりや、三番めに本屋
- (5) 一番さきにくすり屋
二番めに本屋、三番めにゆうびんきょく
- (6) 一番さきにくすり屋
二番めにゆうびんきょく、三番めに本屋

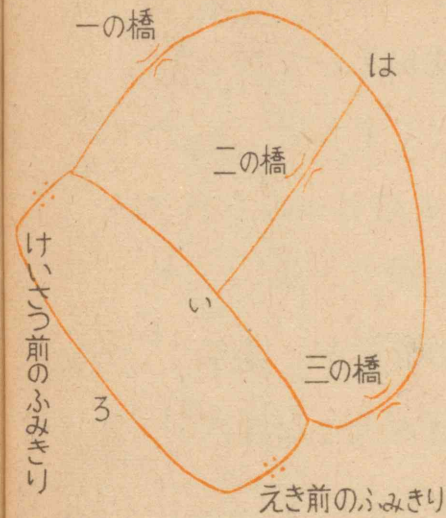
おじさん「よくできたね。……なるほど、この地図はなかなか上手にかけているね。ところであきら君、ここに一の橋、二の橋、三の橋と三つの橋があるね、こちらにはけいさつ前のふみきりとえき前のふみきりの二つのふみきりがあるね。この家を出て、三つの橋と二つのふみきりを、ど

れもただ一度ずつわたってこの家に帰ってくるにはどうしたらいいだろう。」

あきら「ちょっと待ってください。地図の上で考えてみましょう。」

- (1) 一番さきに一の橋をわたる。二番めに二の橋、三番めに三の橋をわたると帰ってこれない。
- (2) 一番さきに一の橋をわたる。二番めに二の橋、三番めにけいさつ前のふみきり、四番目にえき前のふみきり、五番目に三の橋をわたるとやっぱりだめ。
- (3) 一番さきにけいさつ前のふみきりをわたる。二番めにえき前のふみきり、三番めに三の橋、四番めに二の橋、五番目に一の橋をわたるとこれもだめ。

おじさん「このように考えたらわかりやすいよ。通る所は一の橋、二の橋、三の橋、けいさつ前のふみきり、えき前のふみきりの五つだから、これを線と考えたらどうだね。この家を出て、五つの



線をひとふてでかくことができるかどうか わかればよいわけたよ。」あきら「ちょっと待ってください。……………わかった。この家を(い)、学校の方を(ろ)、川むこうを(は)とすると、(い)か

ら出たのではこの五つの線をひとふてでかいて、また(い)に帰ってくることはできませんね。(は)から(い)に帰るならできますよ。」

おじさん「えらい。よくできたね。ではこれからきよちゃんと三人で でかけようかね。」

・ おじさん、あきら君、きよちゃんの三人が一本道を一れつになってあるいて行きます。一番さきがおじさん、二番目があきら君、三番目がきよちゃんというようにいろいろのじゅんばんになら



んだとすると、いくとうりの方法があるでしょう。

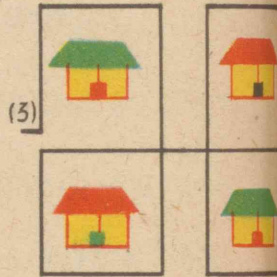
・本屋、ゆうびんきょく、くすり屋、くだもの屋の4けんに行くとするば、そのじゅんじょにはいくとうりの方法があるでしょう。

・1, 2, 3, 4の四つの数字を一度ずつ、つかってできる数の中で、1ばん大きな数は何ですか。一ばん小さな数は何ですか。

・4けんの家がならんでいます。火のばんが(い)から出て、この4けんの家のみまわりをぜんぶまわって

(ろ)へ出るには、どのような道じゅんにしたら一番近いでしょう。同じ道を二度とうってもよいことにします。

・6けんの家がならんでいるときはどうしたらいいでしょう。



学用品を共同で買ったたりそれを分けたりする時の計算は、正しく早くできるようにくふうしましょう。

二学期のはじめで、学校では、いろいろな学用品を共同で買入れます。あきら君たちの組では、学用品の買入れがあると、はん長が、はんの人たちのお金を集めます。それをまとめて、学級委員の会計係に出すことになっています。

品物 ねだん		
名前		
青木しげる		
川上清		
小山千代子		
~~~~~		
渡辺正子		
合計		

あきら君とよし子さんは会計係です。二人は、先生から組の名簿をおかりして来て、上のような表を作りました。

私たちも このように くふうしましょう。

お金を集めるとき、まちがいなくするためにどうしたらよいか相談しました。各はんで、はんの人の名前を書いた表を作つてしるしをつけることにしました。また、会計係は組全体の人表を作ることになりました。



一 帳面の配給  
きのう 帳面がきたといふしらせがあつたので みんなは

今日 お金を持って来ました。帳面は一人に3さつずつで、ねだんは 分が23円だそうです。

はん長は、はんの人たちからお金を集めています。各はんは8人ずつです。いくらずつ集まりますか。

あきら君とよし子さんは、はん長がお金を持って来たので、表にしるしをつけて受け取りました。

それから二人は、集まったお金を、お金のしゅるいに分けてかんじょうしました。お金はみんなで1104円ありました。二人はこれでまちがいないかどうか調べることにして、二人がちがうしかたでしてみました。



よし子さんのしかた

各はんの人数は同じだから、集まったお金も同じで、184円です。はんは6はんあるから、184円の6倍で、右のように計算しました。

$$\begin{array}{r} 184 \\ \times 6 \\ \hline 1104 \end{array}$$

あきら君のしかた

一人が23円で、組の人数は48人だから

$$23 \times 48$$

この計算のしかたがわからないのでつぎのよう  
に考えました。

$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 8 \\ \hline 184 \\ 23 \\ \times 4 \\ \hline 92 \\ 184 \\ + 920 \\ \hline 1104 \end{array}$$

184(円)と920(円)を合わせて1104(円)  
集まったお金がまちがないことがわかりました。

つぎの計算をしましょう。

$$14 \times 20, \quad 25 \times 30, \quad 76 \times 50$$

そのとき、かず子さんが「この計算を、もっと  
じょうずにするしかたはないでしょうか。」といっ  
たので、みんなはまた考えました。

ひでお君は 黒板に 下のようを書いてしらべ

ていましたが、

「前の考え方をまと  
めて、こういうよう  
に書いたらどうだろ  
う。」

$$\begin{array}{l} 23 \quad 23 \text{の} 8 \text{倍は} 184 \text{円} \\ \underline{48} \quad 23 \text{の} 40 \text{倍は} 920 \text{円} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 48 \\ \hline 184 \\ 920 \\ \hline 1104 \end{array}$$

とって、左のように書きました。

みんなは、これを見て、この計算  
は、こういうようにすると大へんべ  
んりだと思いました。

つぎの計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} 43 \\ \times 15 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 27 \\ \times 32 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 35 \\ \times 46 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 12 \\ \times 58 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 65 \\ \times 17 \\ \hline \end{array}$$

この計算をしていくうちに、よし子さんは 二



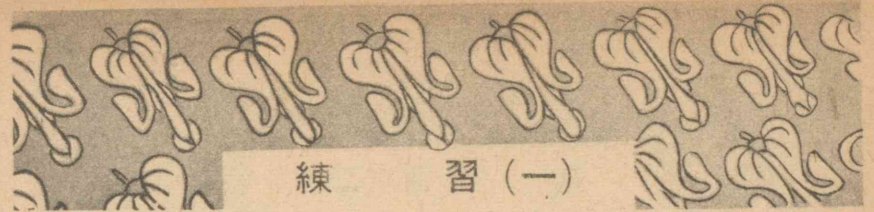
段目の答の一の位は、いつも0になることに気が  
つきました。みんなに話しますと、あきら君が、

千百十ー 「左のように、二度目のかけざんの答  
23  
×48 を かける数のま下(ここでは十の位  
184 から書いて、たてがきちんとそろろうよ  
92 うにしたらよいと思います。」

1104  
千百十ー といいました。みんなは、そのわけ  
がよくわかったので、これからは、そうすること  
にしました。

つぎのかけ算を練習しましょう。

<u>45</u>	<u>68</u>	<u>16</u>	<u>39</u>	<u>27</u>
<u>23</u>	<u>24</u>	<u>36</u>	<u>27</u>	<u>19</u>
<u>16</u>	<u>59</u>	<u>26</u>	<u>47</u>	<u>38</u>
<u>40</u>	<u>80</u>	<u>70</u>	<u>50</u>	<u>30</u>
<u>48</u>	<u>29</u>	<u>84</u>	<u>96</u>	<u>18</u>
<u>76</u>	<u>64</u>	<u>84</u>	<u>59</u>	<u>91</u>
<u>71</u>	<u>37</u>	<u>28</u>	<u>94</u>	<u>41</u>
<u>27</u>	<u>68</u>	<u>56</u>	<u>93</u>	<u>79</u>



つぎのかけ算をきなさい。

<u>217</u>	<u>194</u>	<u>503</u>	<u>387</u>	<u>346</u>
<u>4</u>	<u>6</u>	<u>9</u>	<u>7</u>	<u>8</u>
<u>715</u>	<u>578</u>	<u>946</u>	<u>186</u>	<u>425</u>
<u>5</u>	<u>3</u>	<u>2</u>	<u>8</u>	<u>9</u>
<u>26</u>	<u>85</u>	<u>36</u>	<u>75</u>	<u>38</u>
<u>30</u>	<u>20</u>	<u>50</u>	<u>60</u>	<u>40</u>
<u>14</u>	<u>25</u>	<u>91</u>	<u>17</u>	<u>98</u>
<u>70</u>	<u>80</u>	<u>30</u>	<u>90</u>	<u>50</u>
<u>41</u>	<u>89</u>	<u>79</u>	<u>25</u>	<u>86</u>
<u>45</u>	<u>17</u>	<u>28</u>	<u>27</u>	<u>19</u>
<u>47</u>	<u>36</u>	<u>26</u>	<u>85</u>	<u>35</u>
<u>54</u>	<u>96</u>	<u>71</u>	<u>69</u>	<u>38</u>
<u>92</u>	<u>61</u>	<u>47</u>	<u>56</u>	<u>12</u>
<u>35</u>	<u>82</u>	<u>79</u>	<u>54</u>	<u>13</u>
<u>38</u>	<u>29</u>	<u>95</u>	<u>74</u>	<u>17</u>
<u>53</u>	<u>46</u>	<u>17</u>	<u>68</u>	<u>13</u>

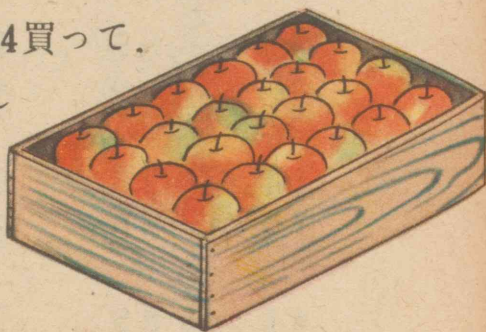




練習(二)

(1) 4年生は共同でクレヨンを買いました。  
一人に1はこずつで、1はこのねだんは34円です。  
組の人数は、一組が47人、二組が48人、三組が  
45人、四組が46人です。各組は お金がいくら  
集まるでしょう。

(2) 一個18円のりんごを24買って、  
はこにつめてもらいまし  
た。はこ代は2円50銭  
でした。このねだんは  
いくらになるでしょう。



(3) つぎのかけ算をしなさい。

$\begin{array}{r} 319 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 129 \\ 9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 138 \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 476 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 298 \\ 8 \end{array}$
-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------

$\begin{array}{r} 16 \\ 65 \end{array}$	$\begin{array}{r} 38 \\ 29 \end{array}$	$\begin{array}{r} 49 \\ 21 \end{array}$	$\begin{array}{r} 63 \\ 45 \end{array}$	$\begin{array}{r} 25 \\ 15 \end{array}$
-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------

$\begin{array}{r} 83 \\ 72 \end{array}$	$\begin{array}{r} 23 \\ 89 \end{array}$	$\begin{array}{r} 57 \\ 47 \end{array}$	$\begin{array}{r} 37 \\ 16 \end{array}$	$\begin{array}{r} 49 \\ 64 \end{array}$
-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------



テスト(一)

(1) ぶんぼうぐ屋さんから、1ダース45円のえん  
ぴつを 25ダースまとめて買いました。  
いくらはらえばいいでしょう。

また えんぴつは ぜんぶで何本あるでしょう。

(2) 1個18円のなしを 15 買いました。いくらは  
らえばいいでしょう。

それをはこに入れても  
らいました。

どのようにいれてあったでしょう。

(3) 日曜日に、友だち15人が遠足に行きました。

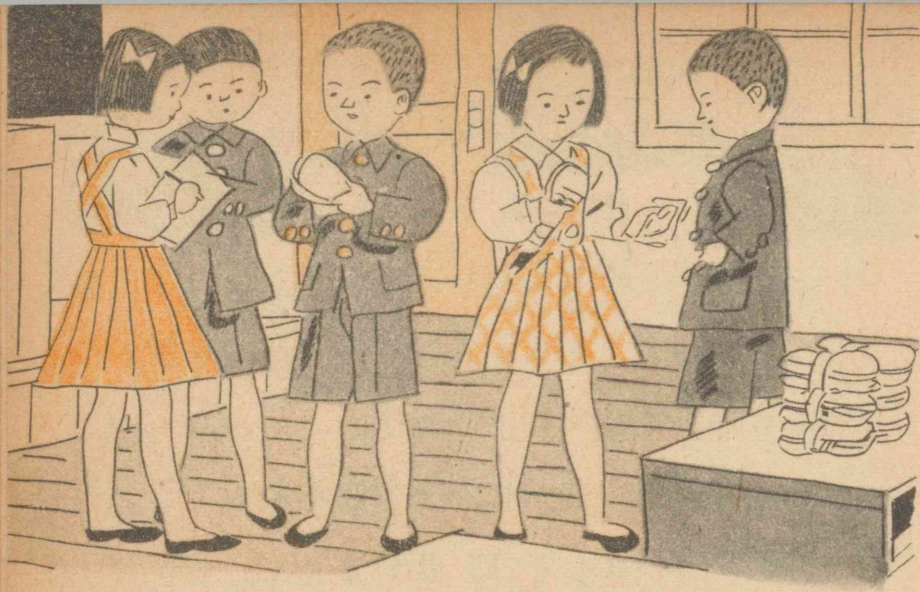
かかったお金は、一人が36円でした。ぜんぶで  
いくらだったのでしょうか。

(4) つぎのかけ算をしなさい。

$\begin{array}{r} 124 \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 748 \\ 5 \end{array}$	$\begin{array}{r} 56 \\ 80 \end{array}$	$\begin{array}{r} 79 \\ 90 \end{array}$	$\begin{array}{r} 13 \\ 80 \end{array}$
-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------

$\begin{array}{r} 21 \\ 46 \end{array}$	$\begin{array}{r} 19 \\ 51 \end{array}$	$\begin{array}{r} 38 \\ 63 \end{array}$	$\begin{array}{r} 46 \\ 27 \end{array}$	$\begin{array}{r} 35 \\ 19 \end{array}$
-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------





## 二 運動ぐつの買い入れ

きょう 運動ぐつを共同で買い入れました。八文半が5足、九文が7足、九文半が3足で、ねだんはどれも1足 185円でした。お金はあした持って来て、会計係へ出すことになりました。

先生が「たくさんのお金ですから、持ってくる人も会計係も、なくしたり、まちがったりしないようによく注意して下さい。」とおっしゃいました。

あきら君とよし子さんは、くつ代は全部でいくらになるだろうかと思って、計算してみました。

## 185×15の計算

$$\begin{array}{r} 185 \\ \times 15 \\ \hline \end{array}$$

前と同じように考えて、左のよう  
うに書きました。

$$185 \times 5 = 925$$

$$185 \times 10 = 1850$$

$$925 + 1850 = 2775$$

これをまとめて、右のように書  
きました。

よし子さんが、

「前のときと同じように、二段めの答の  
一の位の0はいらないでしょう。」といいました。

二人はこの計算のしかたがよくわかったので  
みんなに話しました。

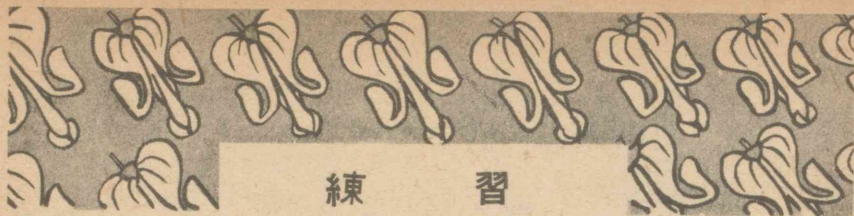
$$\begin{array}{r} 185 \\ \times 15 \\ \hline 925 \\ 1850 \\ \hline 2775 \\ \text{千七百七十五} \end{array}$$

つぎのかけ算をしなさい。

$$\begin{array}{r} 248 \\ \underline{17} \end{array} \quad \begin{array}{r} 165 \\ \underline{13} \end{array} \quad \begin{array}{r} 279 \\ \underline{24} \end{array} \quad \begin{array}{r} 195 \\ \underline{32} \end{array} \quad \begin{array}{r} 132 \\ \underline{58} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 328 \\ \underline{25} \end{array} \quad \begin{array}{r} 215 \\ \underline{43} \end{array} \quad \begin{array}{r} 136 \\ \underline{54} \end{array} \quad \begin{array}{r} 406 \\ \underline{23} \end{array} \quad \begin{array}{r} 507 \\ \underline{18} \end{array}$$





練習

つぎのかけ算をなさい。

$\begin{array}{r} 321 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 210 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 203 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 104 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 300 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 8 \end{array}$
----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------

$\begin{array}{r} 150 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 5 \end{array}$	$\begin{array}{r} 177 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 689 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 581 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 8 \end{array}$	$\begin{array}{r} 695 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 4 \end{array}$
----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------

$\begin{array}{r} 41 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 21 \end{array}$	$\begin{array}{r} 74 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 53 \end{array}$	$\begin{array}{r} 68 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 68 \end{array}$	$\begin{array}{r} 96 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 52 \end{array}$	$\begin{array}{r} 45 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 97 \end{array}$
---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

$\begin{array}{r} 58 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 73 \end{array}$	$\begin{array}{r} 35 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 46 \end{array}$	$\begin{array}{r} 87 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 24 \end{array}$	$\begin{array}{r} 79 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 36 \end{array}$	$\begin{array}{r} 92 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 87 \end{array}$
---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

$\begin{array}{r} 632 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 11 \end{array}$	$\begin{array}{r} 879 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 11 \end{array}$	$\begin{array}{r} 310 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 23 \end{array}$	$\begin{array}{r} 200 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 26 \end{array}$	$\begin{array}{r} 500 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 12 \end{array}$
-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

$\begin{array}{r} 137 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 49 \end{array}$	$\begin{array}{r} 325 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 25 \end{array}$	$\begin{array}{r} 186 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 57 \end{array}$	$\begin{array}{r} 504 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 17 \end{array}$	$\begin{array}{r} 240 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 24 \end{array}$
-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------



テスト

(1) たけ子さんの両手を開いたはばは、126 cm あります。たけ子さんの家の横のへいの長さを両手を開いたはばで はかったら 18回ありました。

このへいの長さはおよそ何メートルでしょう。

(2) 客車1りょうには、およそ120人こしかけられます。この車りょうは25りょうあります。この電車に何人がのれるでしょう。

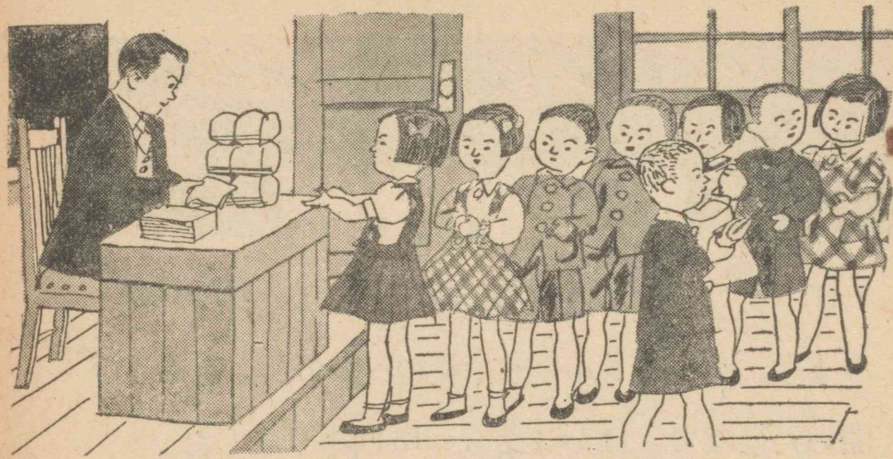
(3) つぎのかけ算をなさい。

$\begin{array}{r} 15 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 26 \end{array}$	$\begin{array}{r} 37 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 84 \end{array}$	$\begin{array}{r} 26 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 95 \end{array}$	$\begin{array}{r} 48 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 73 \end{array}$	$\begin{array}{r} 90 \\ \underline{\phantom{00}} \\ 28 \end{array}$
---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

$\begin{array}{r} 231 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 36 \end{array}$	$\begin{array}{r} 104 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 75 \end{array}$	$\begin{array}{r} 509 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 12 \end{array}$	$\begin{array}{r} 760 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 14 \end{array}$	$\begin{array}{r} 280 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 40 \end{array}$
-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

$\begin{array}{r} 225 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 30 \end{array}$	$\begin{array}{r} 345 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 28 \end{array}$	$\begin{array}{r} 197 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 49 \end{array}$	$\begin{array}{r} 286 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 37 \end{array}$	$\begin{array}{r} 321 \\ \underline{\phantom{000}} \\ 32 \end{array}$
-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------





### 三 半紙の配給

わら半紙が学校に配給になるしらせがありました。学年でまとめて受け取りに行くことになって、あきら君の組の人が行くことになりました。

先生が

「一人25まいだそうだから、学年では5しめより少ない、4人行けばいいだろう。」

とおっしゃいました。

あきら君たちが受け取りに行きますと、配給係の先生が、

「四年生は189人だから、これだけ持って行きなさい。

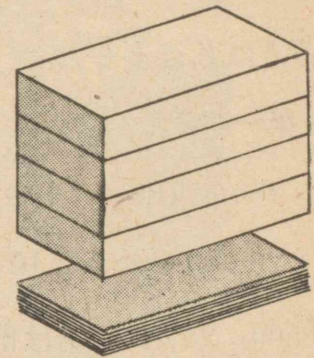
い。数がちがっていたらしらせてください。」

と いった4しめと、あと1しめよりすこし少なく、ばらで渡してくださいました。

教室へ帰ると、先生が

「組は4つだから、つつんだのを一つずつ配って、ばらのを分けてください。」

とおっしゃいました。



あきら君は、ひでお君と手分けして、ばらのわら半紙の数をかぞえてみました。750まいありました。

つつんだたばは何まいあるか先生におたずねしましたら、「一しめは1000まいです。」とおっしゃいました。そうすると全部で4750まいあることになりました。あきら君たちは、四年生のはこれでいいのか、学年の生との数から、半紙の全体の数を出そうとしています。

一組は47人、二組は48人、三組は45人、四組は49人ですから、学年ぜんたいでは189人です。」



一人が25まいですから、全体では

$$25 \times 189$$

になります。この計算のしかたについて、みんなは考えはじめました。

### 第一の考え

189を100と89の二つに分ける。25の100はいは25の10はいの10はいだから、250の10倍で2500、25の89倍は前のしかたで2225、この二つをよせて4725になる。

$$\begin{array}{r} 25 \\ \times 189 \\ \hline 225 \\ 2000 \\ 2500 \\ \hline 4725 \end{array}$$

この考え方も、前にしたようにまとめて書くと、右のようになるが、二段目の一の位の0、三段目の一の位、十の位の0はなくてもよいから、下のようにかいた方がやりやすい。

$$\begin{array}{r} 25 \\ \times 189 \\ \hline 225 \\ 200 \\ 25 \\ \hline 4725 \end{array}$$

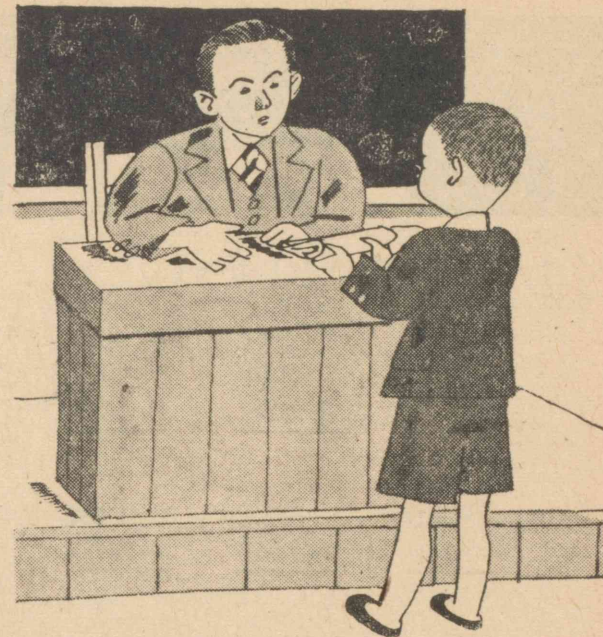
### 第二の考え

2×3と3×2は同じ答になる。同じように答えて、この計算もさかさまにして、189×25とすれば、前

にならった  
しかたで計  
算できる。

$$\begin{array}{r} 189 \\ \times 25 \\ \hline 945 \\ 378 \\ \hline 4725 \end{array}$$

半紙は25  
まい多くき  
たことがわ



かりましたので、あきら君たちは配給係の先生にかえしました。

そして、四つの組に分けました。

各組に何まいずつ分ければいいでしょう。

どういう分け方が一番いいでしょう。

つぎのかけ算をしなさい。

$\begin{array}{r} 45 \\ 219 \end{array}$	$\begin{array}{r} 37 \\ 168 \end{array}$	$\begin{array}{r} 26 \\ 427 \end{array}$	$\begin{array}{r} 19 \\ 365 \end{array}$	$\begin{array}{r} 58 \\ 123 \end{array}$
$\begin{array}{r} 30 \\ 108 \end{array}$	$\begin{array}{r} 20 \\ 409 \end{array}$	$\begin{array}{r} 14 \\ 605 \end{array}$	$\begin{array}{r} 43 \\ 210 \end{array}$	$\begin{array}{r} 36 \\ 200 \end{array}$





テ ス ト

(1) つぎの計算をしなさい。

$\begin{array}{r} 107 \\ 467 \\ + 255 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 128 \\ 350 \\ + 628 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 354 \\ 467 \\ + 236 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 239 \\ 571 \\ + 798 \\ \hline \end{array}$
--------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------

$\begin{array}{r} 8750 \\ - 2410 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 5302 \\ - 1456 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 4251 \\ - 3673 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 9240 \\ - 2549 \\ \hline \end{array}$
---------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------

$\begin{array}{r} 53 \\ \times 37 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 98 \\ \times 56 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 75 \\ \times 49 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 64 \\ \times 82 \\ \hline \end{array}$
----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

$\begin{array}{r} 425 \\ \times 15 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 213 \\ \times 42 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 186 \\ \times 34 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 703 \\ \times 12 \\ \hline \end{array}$
-----------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------

$\begin{array}{r} 38 \\ \times 262 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 17 \\ \times 514 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 32 \\ \times 197 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 40 \\ \times 208 \\ \hline \end{array}$
-----------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------

(2)  $42 \times 215$  の答はいくらですか。それをためすにはどのようにしますか。

計算はどちらが かんたんですか。

(3) 水道から 1時間に 18dl ずつ水がもれれば 1日には、どれだけもれることになるでしょう。又、ひと月の間には、どれほどになるでしょう。

(4) 48人の生徒が ひと月に 2円ずつせつ約すると、どれだけのお金がせつ約できるでしょう。

(5) ひと月に半紙を 3まいずつせつ約すれば 四年生全体 189人では ひと月にどれだけせつ約できるでしょう。

また1年にはどれだけになりますか。

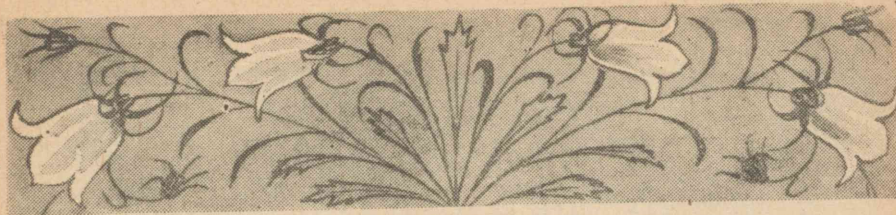
(6) つぎの計算をしなさい。

$7 \times 8 + 4$	$5 \times 3 + 6$	$8 \times 9 + 4$
------------------	------------------	------------------

$9 \times 7 + 8$	$8 \times 6 + 3$	$6 \times 4 + 7$
------------------	------------------	------------------

$8 \times 8 + 6$	$7 \times 7 + 5$	$9 \times 5 + 6$
------------------	------------------	------------------





この単元のまとめ

(1) 学校で使う品物を 共同で買い入れるような時には、進んで手伝うようにするのがよい。

(2) 23 円の品物を 48 個買う時には、 $23 \times 48$  として計算する。その計算のしかたは

(千)(百)(十)(一) (一)  $23 \times 8$  を計算する。

$$\begin{array}{r}
 \dots\dots\dots 2 \quad 3 \\
 \times \quad 4 \quad 8 \\
 \hline
 \dots\dots\dots 1 \quad 8 \quad 4 \\
 \dots\dots\dots 9 \quad 2 \\
 \hline
 1 \quad 1 \quad 0 \quad 4
 \end{array}$$

(1) 「八三24」一の位に4を書く  
 (2) 「八二16」とくり上った2と  
 で18……の中の位に8がくるよ  
 うに書く。

(二)  $23 \times 4$  をする。

この時の4は40の4であることに注意する。

(1) 「四三12」の2は十の位に書く。

(2) 「四二が八」とくり上った1とで9は百の位に書く。92と書いても、これは920のことである。

(3) 位取りに注意してよせる。答は1104である。

(3)  $185 \times 15$  のようなかけ算も、上と同じようにできる。

単元内容一覧表 (上巻)

進度	単元名	指導内容 (数理)
四月	新しい学年 ○四年生になって ○生との数 ○これからの生活 ○身体けんさ	○10000までの数をよんだり書いたりする。 ○概数をとってよんだり書いたりする。 ○加法(和は10000以下繰り上りを含む) ○減法(被減法, 減数共に四位取, くり下りを含む) ○mm単位 <span style="float:right">1cm=10mm</span> ○kg, g, 1kg=1000gの伏線
五月	春の遠足 ○遠足のけいかく ○遠足の費用 ○遠足のおやつ	○時刻表, 時刻と時間(1分単位) ○かんたんな案内図, ○乗法(二・三位数×一位数; 一位数×二・三位数) ○乗法(乗数, 被乗数を交換してたしかめる)
六月	私たちの町 ○町の地図 ○きょりしらべ ○私たちの家	○かんたんな地図 ○kmを用いて測定する。1km=1000m km単位で距離を表わす。(概測) ○北東, 北西, 南東, 南西等の方位 ○直径, 半径, コンパスを用いて円を描く ○歩測の初歩
七月	水泳 ○水泳のじゅんぴ ○川の深さ	○ $\frac{1}{10}$ までの小数を使って量を表わしたり, 表わした量を理解する。 ○ $\frac{1}{100}$ までの小数を使って量を表わしたり, 表わした量を理解する。 ○小数を用いて加法, 減法をする。 ○折れ線グラフを作る。
八月	夏休みのおけいこ ○夏休みの自由研究 ○夏休みのおけいこ	○温度・表・グラフ ○棒グラフと折れ線グラフ ○地図をかくこと
九月	学用品の買い入れ ○帳面の買い入れ ○うんどうぐつ の買い入れ ○半紙の配給	○二位数×二位数の乗法 ○三位数×二位数の乗法 ○二位数×三位数の乗法 ○乗数と被乗数とを交換してたしかめる。



単元内容一覧表 (下巻)

進度	単元名	指導内容 (数理)
十月	運動会 ○運動会のけいかく ○運動会の練習	○除法の意味 ○乗法九九を適用してする除法 (余りのない場合) ○円の直径, 半径, 円筒 ○測定 (巻尺を用いる)
十一月	学級園のとり入れ ○組分け ○重さくらべ ○いもの数 ○一つのいもの重さ	○除法 二位数 $\div$ 一位数で答が一位数, 余りのある場合, 二位数 $\div$ 一位数 三位数 $\div$ 一位数, 四位数 $\div$ 一位数, 余りのある場合に及ぶ。 ○除法の答のためし方 ○g 単位で重さをはかる。1 kg=1000 g
十二月	年のくれ ○炭はこび ○買い物	○除法 三位数 $\div$ 一位数, 四位数 $\div$ 一位数で余りのある場合に及ぶ。 ○和の意味をまとめる。 ○差の意味をまとめる。 ○加法交換の法則。 ○減数をまとめて被減数より引く。
一月	新年 ○こよみ作り ○新年子ども会	○こよみ ○正方形, 長方形等の図形 ○単位分数 (分母16までの分数を用いて量を表わしたり表わした量を理解する)
二月	お店のけんきゅう ○お店しらべ ○お店のようい ○お店ごっこ	○原価, 定価, 利益の関係 ○定 價 表 ○売り上げ, 売り上げ帳の整理
三月	四年のせいり ○学級費のせいり ○学級ぶんこのせいり ○計算のまとめ	○小づかい帳 ○諸計算の復習, 整理 (和, 差の意味) ○長方形, 正方形, もよう等の形の観察 ○加減乗除の総練習

さくいん表 (上巻)

種 別	本書の提出ページ
数えたり 書いたり する(数)	○ 10000 までの数 ○ 9~14, 23, 27, 55, 57, ○ 概数をとる 12~14, 22
加 法	○ 交換してためす 87, 89 ○ 順序交換 下巻 ○ 繰り上り三回迄 16, 17, 15, 22, 26, 59, 60, 87 ○ 和の意味 下巻
減 法	○ 繰り上り三回迄 16, 17, 15, 22, 28, 59, 60, 87 ○ 減数を加えて引く 下巻 ○ 差の意味 下巻
乗 法	○ 二, 三位数 $\times$ 一位数 ○ 一位数 $\times$ 二, 三位数 ○ 37~59, 87, 89 ○ 二, 三位数 $\times$ 二位数 二位数 $\times$ 3位数 117 $\times$ 136
除 法	○ 準 備 ○ 除 法 ○ 余りのある場合 ○ 換 算 } 換算
測 定	○ 1分単位 15, 16, 28~36 ○ km 単位 65, 66, 69 ○ mm 単位 19, 20, 24, 26 ○ g 単位 21~26 ○ 方位 81~86, 89 ○ 角



種 別	本 書 の 提 出 ペ ー ジ
名 数	○ 1 km=1000 m 65, 66, 70, 87 ○ 1 cm=10 mm 19, 20, 24, 26 ○ 1 kg=1000 g 25, 89
問題解決	18, 27, 28, 46, 47, 55, 57, 59, 62 89, 126, 127, 131, 137
実 務	○ 時 刻 表 28~36 ○ こ よ み 33~36 ○ こづかい帳 17 ○ 店 } 下巻 ○ 賣 上 帳 }
分 数	○ 単位分数 下巻
小 数	17, 19~22 69, 70, 84, 87 90~95
グ ラ フ 縮 図 地 図	○ 折れ線グラフ 96~97, 105~110 ○ 二次元の表 14, 15, 118 ○ かんたんな 案 内 図 111~116
図 形	○ 直径, 半径 74~81, 84, 85 ○ 正方形, 長方形 下巻 ○ 角 下巻 ○ コンパス定ぎ で図形をかく 78~81, 88

小 学 算 数 四年上 (小学校第四学年前期用)  
Approved by Ministry of Education (Date Apr. 6 1950)

昭和25年4月 6日印刷  
昭和25年4月 10日発行  
(昭和25年 月 日 文部省検定済)

12	小算 417
二葉	

定 価 円

著 作 者 原 弘道 根本力雄 花村郁雄  
中村 薫 土方敏夫 福田正一郎

東京都北区稻付町1丁目208番地

発 行 者 二 葉 株 式 会 社  
代表者 大野治輔

東京都北区稻付町1丁目208番地

印 刷 者 二 葉 株 式 会 社  
代表者 大野治輔

東京都北区稻付町1丁目208番地

発 行 所 二 葉 株 式 会 社

絵をかいた人： 松井末雄, 船崎光治郎, 藤沢龍雄





広島大学図書

0130449697



年 なまえ

組

二葉株式会社

教

34

013